音脈

ONMYAKU

VOL.65

東京文化会館 公演情報

1—3 2017 WINTER

interview & essay

クリス・デフォート＆ギー・カシアス 2-3

伊藤郁女 4

シディ・ラルビ・シェルカウイ 5

チョン・キュビン／木村皓一／アン・ジョンミン 6-7

小山実稚恵 8

黒木岩寿 9

東京文化会館主催公演 10-12

column

プロセニアムのスター達 13

公演情報 1月～3月 14-19

音楽資料室より 20

都響ニュース vol.42 21

会館からのお知らせ 22

東京文化会館 Tokyo Bunka Kaikan

クリス・デフォート（右）、ギー・カシアス（左）　©Kurt Van der Elst

interview 01

東京文化会館開館55周年・日本ベルギー友好150周年記念
オペラ「眠れる美女
～House of the Sleeping Beauties～」

クリス・デフォート（作曲・台本）＆ ギー・カシアス（演出・台本）

取材・文／福田淳子（昭和女子大学人間社会学部現代教養学科 准教授）

川端康成の小説「眠れる美女」がベルギーで2009年にオペラ化されていたという事実を知ったのは昨年のことだった。川端康成について研究をしているにもかかわらず、6年間も知らずに過ごしてきてしまったという自己嫌悪に襲われると同時に、川端作品に対して日本では行われたことのない“オペラ化”というアダプテーションがベルギーでなされていたことに強い衝撃を受けた。

1961年に刊行された「眠れる美女」（新潮社、初出「新潮」1960～1961）は、「翻訳書目録」（『川端康成全集35』（1983年、新潮社）によれば1965年の英訳を皮切りに韓国語・オランダ語など13カ国語に翻訳されている。海外においてこの作品に影響を受けた芸術家は少なくなく、たとえば映画では、1994年にフランスで「眠れる美女」にインスパイアされた「オディールの夏」が、2007年にはドイツで原作に近い形で構成された「眠れる美女」が、2011年にはオーストラリアで逆に原作をほとんど留めない形で「スリーピング・ビューティー ～禁断の悦び～」が制作された。また文学では、ノーベル賞作家バルガス・リョサのエッセイ（『La verdad de las mentiras』）を読んで「眠れる美女」を知ったというやはりノーベル賞作家のガルシア・マルケスは『わが悲しき娼婦たちの思い出』（2004）を書き、本の扉に「眠れる美女」の本文を引用している。

小説の映画化は日本では昭和初期から行われ、“文芸映画”というジャンルを築いてきた。海外における日本文学作品の映画化も谷崎潤一郎等の近代作家をはじめ、小川洋子・村上春樹等の現代作家の作品でも行われている。一方、小説のオペラ化は海外では古くから行われてきたが、日本の小説のオペラ化は少なく、三島由紀夫の「金閣寺」（1976年）、同じく三島の「午後の曳航」（「裏切られた海」1990年）、遠藤周作「沈黙」（1993年）や武田泰淳「ひかりごけ」（1972年）等が知られている。

ベルギーでのオペラ化になぜ川端の「眠れる美女」が選ばれたのか、そもそもなぜオペラ化なのか、これらの疑問をぜひ演出家や作曲家に投げかけてみたい …。願いが叶って、演出家のギー・カシアス氏と、作曲家でカシアス氏と共に台本にも携わったクリス・デフォート氏に、アントワープで会うことが可能となった。9月15日、リハーサル直前の多忙な状況にも関わらず、2時間近くのインタビューに快く応じてくださった。

川端康成「眠れる美女」との出会い

二人は、川端の小説「眠れる美女」にどのような経緯で辿り着いたのだろうか。カシアス氏は約20年前に谷崎潤一郎と川端の小説に出会い、その後は大江健三郎や三島由紀夫、村上春樹などを読んだ。川端の作品ではこれまでに「雪国」「片腕」を読んだことがあるが、「眠れる美女」以上に強いインスピレーションや衝撃を受けた作品はなく、これをどうしてもオペラにしたいと思ったという。また、二人は2001年にロディ・ドイルの小説「The Women Who Walked Into Doors」（1996年）をオペラ化しており、記憶をキーワードとして過去と未来を繋いでいく展開が「眠れる美女」にも共通していると感じた。前作が西洋的だったため今度は別の形で愛や死を描きたいと思い、前作上演後すぐに決定したとのことだった。

「眠れる美女」はもちろん文章だけで表現された作品であり、オペラにするのは困難な作業であることは分かっていたが、そこを敢えて挑戦した。文章と文章の間にあるものを、音楽や歌、コンテンポラリー・ダンスなどで表現し、見ている側も五感を使って想像を膨らませながら参加することで作品は完成する。自分たちが作っているものは、肌の下に入ってくる作品、体の中に染み込んでくる作品であり、川端の「眠れる美女」こそ相応しいと感じたそうだ。

日本人作家の作品には言葉と言葉の間に非常に多くのものが存在し、特に川端の場合それが強く感じられ、それらをどのように表現するかが興味の対象であり挑戦だったという二人の発言に、筆者は惹きつけられた。日本語で言うところの“行間”を読み、そこに川端作品の魅力を感じ取っていた。彼らが歌やダンスなどセリフではない要素を取り入れることは、読み取った行間を小説に近い形で表現するための手段なのである。

「眠れる美女」のテーマ

小説「眠れる美女」は非常に退廃的な設定であるがゆえに男性目線の作品として批判の対象となる一面を有しているが、二人は小説のテーマをどのように捉えているのか。デフォート氏は、男の目線から書かれた小説であることを認めた上で、年老いていく男性の性欲を繊細に描いており、捉え方によっては嫌らしくなるテーマを、眠っているだけの娘を目の前にして非常に優しく甘く描き、五感を使ってイマジネーションを膨らませ、主人公にとって女性がいかに重要だったかということが表現されていて興味深い作品だと語った。

小説「眠れる美女」においてセクシャリティの問題は非常に重要であり、たとえば登場する女性たちを処女性・娼婦性・母性と描き分けながら、生と死の問題に深く切り込んでいく。この点についてカシアス氏は、愛と性と死が繋がりをもって描かれており、美しいものと美しくないものとの線引きが難しい微妙なところまで小説には描かれている。さらに、身の回りの小さなものが自然に繋がって、宇宙の中の何かの一つになっているような、大きなものへと発展していくような感じを持ったそうだ。デフォート氏は、処女と娼婦、母親というギリシャ神話に出てくる大事な要素を取り入れて書いていることに感心し、とても人間的な要素を持った小説だと感じたという。

小説の結末については、デフォート氏は、娘の生死を心配しているのに宿の女に次の娘を勧められ老人はひどく嘆き悲しんでいる状況であり、そのような辛い思いをしながら漸く天国に召され救われていく老人の死を連想したそうだ。それがとても人間的でメランコリックでもあり、単なるファンタジーではない、深い人間性に根差した小説だと述べた。一方、カシアス氏は、この物語は結末を待たずに終わっており、川端は読者に対して罪悪感など自身が持っているかもしれない問題を投げかけ、自分であとの物語を作っていくように仕向けているのではないか、それが偉大な小説である証拠だと語った。

「眠れる美女」の表現 ―見えないものを見せる

「眠れる美女」は、前述したとおり海外の様々な分野の芸術家たちに影響を与えている、川端作品の中でも特異な位置にある作品である。

©Kurt Van der Elst

この点に関してカシアス氏は、川端の他の作品をそれほど多くは知らないが「眠れる美女」は、言葉で直接言わなくてもあるものを表現しているというところが本当に特殊で、目に見えない自分の心だけで感じられるものを何かの形で作品にしたい、自分の手で別の形にして人に見せたいという、芸術家に何かを作らせるような衝動を起こさせる。これは物書きだけではなく、音楽を作る人間にとっては言葉と言葉の間にあるものを音楽にすることができるし、振り付け師はダンスという形で表現できる。そのような特殊性を持っている作品だと述べた。

オペラの創作過程において特に言葉を重視するデフォート氏は、川端作品は行間にたくさん伝えるべき事があるので、とても創作意欲のわく作品だったという。このオペラの中では川端の小説の表現をそのままセリフにしているが、言葉と言葉の間にある、小説には表現されていない部分については層を作ってそれを埋めていった。たとえば、とても心地よい明るく幸せな感じのする音楽だとしても、その下にはもっと暗い気持ちが隠されていたりする。その層が分かるように、なぜここにこの音楽があるのか、聴いている側がさらに考えられるように、層を埋めていったそうだ。

二人からのメッセージ

川端の作品をそのまま作品にしたというよりは、川端の作品をもっと素晴らしい作品として人々に理解してもらえるように作り上げたつもりだ。今までは発表の場がヨーロッパだったが、今度は日本において日本の出演者たちと作り上げることになる。どのように日本の観客に伝わるかで自分たちの作品の真の結果が出るのではないかと思っている。楽しみにしていてほしい、とのことだった。

※本インタビューは、文部科学省科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究C 平成26年度～平成28年度、課題番号26370173）による調査の一部である。

公演情報 P10参照

©Kurt Van der Elst

interview 02

東京文化会館開館55周年・日本ベルギー友好150周年記念
オペラ「眠れる美女～House of the Sleeping Beauties～」

伊藤郁女（ダンサー）

ベルギーで初演された際、「眠れる美女」を踊っていた伊藤郁女が東京の舞台にも立つ。ヨーロッパで活躍する彼女に話を聞いた。

取材・文／石井達朗（舞踊評論家）

川端康成の小説『眠れる美女』が、2009年ベルギーで現代オペラとして初演された。エロスが香り立つこの異色のオペラが、東京文化会館開館55周年、日本・ベルギー友好150周年を記念して12月に来日する。演出・振付・美術・衣裳を担当するのはヨーロッパの第一線で活躍のアーティストたち。加えて、日本から俳優の長塚京三、原田美枝子がオペラに初挑戦し、オーディションで選ばれた4人の歌手（ソプラノ2人、メゾソプラノ2人）が加わる。

もう一つの注目は、初演時シディ・ラルビ・シェルカウイの振付で出演していたダンサー伊藤郁女が再び参加することだ。今のヨーロッパで、シェルカウイは新しい世代のダンスの作り手として名実ともにトップランナーである。日本でも非常に評価が高く、新作の一作一作が大きな注目を浴びている（この秋には『sutra スートラ』が東京と愛知と北九州で公演された）。伊藤と彼との出会いは？

伊藤 ラルビとはもう長いあいだの友人です。わたしがプレルジョカージュのカンパニーで踊っていたとき、ラルビが同じホテルに泊まっていて、ホテルが火事になったんです。それでラルビと一緒にホテルから飛び出して、わたしの友達がラルビを知っていたので知り合うことになりました。ホテルの火事がきっかけなんですね（笑）。ラルビとは、二人で何かやりたいねという話はしていたのだけれど、以前の作品では実現せず、『眠れる美女』をやらないかという話になったんです。原作を読んで、眠れる女たちの美しさにすごく惹かれました。そこでオペラ全体の演出をしているギー・カシアスにアヴィニョンで会いました。原作では女たちは眠っているだけだけど、寝ながら、相手に何らかの表情を見せるようなこと、すごく興味がありました。ダンスとして、眠りながら相手を誘うような動きとか仕種とか。

川端の原作では、話は5夜にわたり、5夜目には女性が2人いるので6人の「眠れる美女」がいることになる。オペラは一幕三場、そして「眠れる美女」として舞台にいるのは伊藤郁女だけだ。オペラ作品ならではの魅力を発揮する構造がここにある。

伊藤 わたし一人が「眠れる美女」として存在しています。ただしコーラスの4名が、それぞれ違った女性を描写します。わたしは3つのシーンでぜんぜん違った女を演じ分けなければなりません。最初の女はピュア、純粋です。若々しく初々しい。青と白のドレスがそのことを表している。2番目の女は、赤が基調で、だから真っ赤な口紅を塗って、官能性を表に出す。でも彼女、ヴァージンなんですよ。3番目のシーンには2人女性がいるんだけど、一人は臭っていて気持ち悪い（笑）。そっちの臭ってくるほうが死んでしまいます。

石井 その気持ち悪いという女性は、原作では腋臭（わきが）があるとかの生々しい描写があるけれど、そういうのも官能の一種ですよね。

伊藤 ええ、だからそういうところで男を惹き付けるというのも、面白いと思うし興味があります。

石井 じゃあ、もう一人の女性は？

伊藤 ただ隣に寝ている。ふつうの女性という感じ。「美しい」とは書いていないんです。2番目のシーンがすごく難しい。というのは、そのシーンのあいだずっと、ほとんど逆さにぶら下がってるんですよ（笑）。いろいろな姿勢をとるのだけれど、頭が下になってぶら下がっているというのがきつい。

石井 それは辛そう（笑）。

伊藤 本当に辛いですよ！その状態でディテールの表現なんか、大変です。ちょっと寝返りをうつようなところで腹筋を使わなくちゃならないとか…。

小説のなかの女たちは、主人公の老人との関係性のなかで存在している。このオペラでは、男性である老人を「美女」役の彼女はどう受け止めるのか？

伊藤 観客すべてが老人たちで、わたしを見つめ、わたしを触っている。自分は観客の獲物にされている感覚ですね。

石井 その観客からの視線を、逆にもてあそぶというのもあるでしょ？

伊藤 そういうふうにやっています。そこにいろんな形で音楽が入ってくるので、それによって身体のあり方も変容してきます。舞台では原作と違い、わたしは終始ひとりで宙に浮いていて、実際に体を触られたりとかいうのはありません。観客の想像に任せるということです。この作品にはどの要素がメインになっているということがないのです。音楽的なアプローチと演劇的アプローチとダンス的なアプローチが渾然一体となり、観客の想像力に訴えます。

石井 音楽、演劇、ダンスがせめぎ合い、混じり合う。まさに一種のトータルシアターですね。今からすごく楽しみです。

公演情報 P10参照

©Kurt Van der Elst

essay 01

東京文化会館開館55周年・日本ベルギー友好150周年記念
オペラ「眠れる美女～House of the Sleeping Beauties～」

シディ・ラルビ・シェルカウイ（振付）

振付のシディ・ラルビ・シェルカウイとダンサー伊藤郁女の魅力を通し、川端康成晩年の傑作のオペラ化『眠れる美女』の魅力をダンスの面から探る！

文／乗越たかお（作家・舞踊評論家）

シディ・ラルビ・シェルカウイはいま世界のパフォーミングアーツ界で最も人気の高いダンサー・振付家である。

ベルギーを代表する振付家アラン・プラテルのカンパニーに属していた。日本で初めて彼の作品が上演された『ダヴァン』はその頃の作品だ。盟友のダミアン・ジャレを含めた4人での共同振り付けながら、その個性はすでに色濃く際立っていた。

日本での上演回数も多く、つい最近も本物の少林寺の僧侶たちと作った『sutra スートラ』で、あらためてファン層を増やした。また手塚治虫をモチーフにした『テヅカ TeZukA』など、日本との共同制作にも積極的だ。

いったい何が彼を求めるのか。

まずシディ自身がズバ抜けた身体能力を持っていることが挙げられる。踊りの柔軟性はもちろんだが、各国の伝統や文化から、そのエッセンスをスッと自分のものにできる特異な才能がある。そして様々なアーティストと自分の持ち味を融合させる感覚がズバ抜けているのだ。またダンスであっても、ほとんどの作品に生歌を使う。オペラには最も親和性のある振付家のひとりと言えるだろう。

ダンサーとして参加する伊藤郁女もまた、世界的に活躍している。バレエの基礎にしっかりと裏打ちされながら、驚異的な柔軟性と強烈な個性をほとばしらせるダンサーである。小柄な身体からは思いもよらぬほど膨大なエネルギーを放ち、一瞬にして劇場いっぱいに充溢させ、圧倒してみせる。

伊藤はこれまでフィリップ・ドゥクフレ、アンジェラン・プレルジョカージュといった一流の振付家と協働してきたが、自身の振付作品も多い。パリのダンスシリーズで、彼女だけが2作品上演するという破格の待遇で迎えられていたほどである。

つまりダンスファンにしてみれば、この『眠れる美女』は「シディと伊藤とのコラボレーション」という点だけを取り上げても、決して見逃せない作品なのである。

本作の原作はノーベル賞作家・川端康成の晩年の傑作『眠れる美女』である。

高齢で男性の機能を果たさなくなった男が、睡眠薬で眠らせた若い女と一夜を過ごす妖しげな宿が舞台である。

決して満たされず、果たされない欲望。若く美しい女と過ごす時間が甘美であればあるほど、生殺しの地獄は深くその身を苛（さいな）む。すでに自分から失われてしまったものどもが、逆照射されるからだ。懊悩と煩悶の極地である。

……とこのように『眠れる美女』は魅力ある小説だが、舞台化・映像化は、簡単ではない。なにより肝心の美女は寝ているので、話さないし動かない。つまり歌えないし踊れない。本来オペラにはまったく不向きな登場人物たちによる小説なのである。

そこで演出のギー・カシアスは本作で、この「致命的なまでの描きにくさ」を、ある方法で解決した。それは「2人で1つの役を演じる」ことである。「眠っている美女」の役を、「心情」と「身体」の2つに分けたのだ（ギーはあるインタビューで、シディとのアーティスティック・ミーティングがこのアイデアの元だと言っている）。

舞台は上下に区切られ、伊藤は着物生地が一面に広げられたその中央に存在する。裾野が広がった女性を俯瞰で見ているようでもあるが、ときに宙吊りのようなアクロバティックな姿になるなど、この位置関係は様々に変化していく。

ここで伊藤が踊るのは、目の前で眠っている現実の美女の身体ではなく、男の脳内に広がる迷妄の肢体である。美女の役を二人に分けたことによって、昏睡している美女とは別に、妄想の中の美女を視覚化することに成功したのだ。

それはときに艶かしく男を誘う。決して結実することのないことを知りつつも、その動きはいや増し、止めることができない。その思いと渇望に、男の胸は焼かれていくのである。

本作には派手な大仕掛があるわけではない。初めから終わりまで、生と性そして死のイメージが、舞台上のそこここに浸潤している。

生で結実せぬ想いは、死をもって獲得するしかない。その成否はぜひ舞台を見て判断していただきたいが、川端が描いた「乾いた爛熟」ともいうべき作品を、ベルギーのアーティストがこれほどに深い理解でオペラ化したことには驚嘆せざるを得ない。

静かに、そして胸の深奥に細く長く突き刺さる体験となるだろう。

公演情報 P10参照

interview 03

第14回東京音楽コンクール 優勝者＆最高位入賞者コンサート

チョン・キュビン（ピアノ）／木村皓一（テューバ）／アン・ジョンミン（バリトン）

8月に本選が行われた第14回東京音楽コンクールで第1位（金管部門は最高位の第2位）を獲得した3名に、1月の「優勝者＆最高位入賞者コンサート」への意気込みを伺いました。

取材・文／編集部　写真／堀田力丸

チョン・キュビン（ピアノ）
Chung Kyubin
ピアノ部門第1位

ーピアノを始めたきっかけを教えてください。

特別なきっかけはなく、幼い頃からクラシック音楽に身近に接していたので、とても好きでした。11歳の頃、アメリカから戻り、芸術中学校に行くことを決めました。それから、本格的にピアノを専攻しました。

ー今勉強していることと、これから勉強したいことは？

今はまだ学生なので、より多くの曲と接し、懸命に練習することが大切だと思います。

また、作曲家の人生と音楽は切り離すことの出来ないものなので、作曲家に対する理解を深め、彼らの生きた時代をしっかり勉強しようと努力しています。交響曲にも関心があるので、後に機会があれば、指揮の勉強もしたいです。

ー東京音楽コンクールに応募したいきさつは？

先生にコンクールに出るよう勧められました。また、本選で東京フィルハーモニー交響楽団と共演出来ることに大きな魅力を感じました。

ーホールやコンクールの印象は？

ピアノも音響も、全て素晴らしいと感じました。また、観客の皆様のおかげで、音楽に集中することが出来ました。特に、最後の舞台である本選では、緊張せず音楽を楽しむことが出来ました。

ー尊敬する音楽家は？

最も尊敬する音楽家はベートーヴェンです。彼がとても好きで、伝記や手紙なども読んでいます。

彼の音楽はもちろんですが、彼自身が生き抜いた人生と思想に多くの感動を受けます。ですので、彼の音楽をよく理解し演奏することが、私の一番の望みです。

ー今後、どのような音楽家になりたいですか？

ずっと努力し続ける音楽家になりたいです。良い成績を残すことよりも最も大切なことは、音楽を愛する気持ちだと思います。そのような情熱を忘れなければ、日々、演奏者として成長できると考えています。

ーコンサートに向け、メッセージをお願いします。

コンクールとは異なる演奏会という舞台で、日本の皆様にまたお会い出来る事がとても楽しみです。良い演奏をお聞かせ出来るよう、努力致します。ありがとうございます。

	ピアノ部門	金管部門	声楽部門
第1位	チョン・キュビン	該当者なし	アン・ジョンミン（バリトン）
第2位	西村翔太郎	木村皓一（テューバ）	ヴィタリ・ユシュマノフ（バリトン）
第3位	開原由紀乃	東川暁洋（トロンボーン）	今井実希（ソプラノ）
入選（演奏順）	木本秀太	籠谷春香（トランペット） 松山 萌（トランペット） 髙瀬新太郎（トロンボーン）	キム・テウン（メゾソプラノ） 平山莉奈（メゾソプラノ）
聴衆賞	西村翔太郎	木村皓一（テューバ）	アン・ジョンミン（バリトン）

第15回東京音楽コンクールのご案内

開催部門　ピアノ、弦楽、木管
※第16回は弦楽部門、金管部門、声楽部門を開催します。

日程（予定）　応募受付：平成29年4月（予定）
第1次予選：6月28日～7月6日（各部門2～3日）
第2次予選：8月20・22・24日（各部門1日）
本選：8月27・29・31日（各部門1日）

会場　第1次予選・第2次予選：小ホール
本選：大ホール

≫ 詳細は決定次第ホームページ等で発表します。

木村皓一（テューバ）
Koichi Kimura
金管部門第2位（最高位）及び聴衆賞

ーテューバを始めたきっかけを教えてください。

中学校で吹奏楽部に入り、1年生では別の楽器でしたが、2年生からテューバでした。そして3年生の夏に、高校は音楽科に進もうと思いました。ピアノで東京音大の付属高校を受験することも勧められましたが、将来を考えると、その時やっていたテューバで行こうと思いました。

ー東京音楽コンクールに応募したいきさつは？

東京音楽コンクールは以前から知っていました。今年はテューバが参加できる最初の年なので絶対に受けようと思っていました。

ーホールやコンクールの印象は？

東京文化会館での演奏経験は大小ホール共に初めてでした。また、プロのオーケストラとの共演も今回が初めてでしたが、ピアノ伴奏で「1対1」で音楽を作る時とは違い、自分の演奏場所では目印としていたパートが聞こえにくく、演奏しても実際にどう聴こえていたのかが分からないので、周りの評価を聞くしかありませんでした。これは今までにない感覚です。しかしこの経験は、音楽家としての一歩を進んだ、ということを実感できるものでした。

ー今後、どのような音楽家になりたいですか。

最終的には「演奏家」ではなく「音楽家」になりたいと思っています。

狭き門と分かりつつ、オーケストラに入るのが目標です。そして、ソロ活動やアンサンブルも積極的に続けていきたいです。

アン・ジョンミン（バリトン）
Ahn JeongMeen
声楽部門第1位及び聴衆賞

ー声楽を始めたきっかけを教えてください。

8歳の頃、童謡のレッスンを受け始めました。とても楽しく、地道に歌を習っていましたが、中学生になる頃、両親から将来の夢である医者になるために、歌の教室を辞めることを勧められました。

それまで、私は自分の夢が医者だと思っていましたが、歌を辞めてまで、他のどんな事もやりたいと思わなかったのです。将来、声楽家になる事を強く決心し、一般校から芸術中学校に転校し、それからは、他の選択肢など無く、音楽の道のみ歩んできました。

ー東京音楽コンクールに応募したいきさつは？

先生から“頑張りなさい！”と、コンクールの要項を頂き、応募することになりました。

ーホールやコンクールの印象は？

巨匠たちが、日本に訪問し演奏をした映像が多く残っています。そのような伝統のあるホールで演奏できた事は、私にとって、とても光栄なことでした。

コンクールでは観客の皆様が記憶に残っています。予選、本選に多くの方が来場され、音楽がとても身近にある社会だと感じ、驚きました。本選の舞台を終えた瞬間、コンクールなのにも関わらず、音楽会のように楽しめたのは、観客の方々のおかげだと感じました。

ー今後、どのような音楽家になりたいですか？

音楽は全て素晴らしいものですが、その中でも声楽が人の声で表現されるということは、より人間的であり、人間らしい美しさであると思います。

なぜなら、先天的な部分もあると思いますが、自分自身の体と人生そのものが楽器と技量になるからです。ですので、音楽家はその体に音楽を刻んで生きていくべきであり、人生こそが音楽と一つになるべきであると考えます。

生活の中での言動や行動など、音楽の美しさに伴った人生を生きていく音楽家になりたいです。

ーコンサートに向け、メッセージをお願いします。

第1位という貴重な賞を頂けて、とても幸せです。また、聴衆賞を下さった、本選に来ていただいた皆様に、この場をお借りして、感謝の気持ちをお伝えしたいです。

このコンサートが、皆様と音楽の美しさを共に分かち合える、とても良い時間になれば幸いです。ありがとうございます！

公演情報 P10参照 ≫

©ND CHOW

interview 04

《響の森》vol.38
「ニューイヤーコンサート2017」

小山実稚恵（ピアノ）

**2015年にデビュー30周年を迎えて
さらに充実を極める名手が雄大な名作を披露。
新年のスタートを華麗に彩る！**

取材・文／柴田克彦（音楽ライター）

人気、実力ともに日本を代表するピアニスト・小山実稚恵は、新春恒例のニューイヤーコンサートでソリストを務める。演目はラフマニノフのピアノ協奏曲第3番。彼女の十八番の1曲であり、話を聞くと思い入れも深い。

「学生時代から最愛のコンチェルトで、ホロヴィッツの録音等を聴いて、曲への思いは高まり続けていました。ただ以前は、今と違って2番との知名度の差が圧倒的。2番は早期からのレパートリーでしたが、3番は何度オファーを出しても決まりませんでした。ですから最初は1995～6年頃、あるコンサートに無理にお願いして入れて頂いたように記憶しています。それ以来弾いたのは2～30回位。やはり大曲ですし、特別な思いがある分、デビュー20・30周年記年公演など、ここというときに弾くことが多いですね。これまでに、CDも録音したフェドセーエフさんをはじめ数々の指揮者と共演していますが、印象深いのは2015年の2公演。大野和士さん指揮する都響との東京と大阪での30周年記年公演と、広上淳一さん指揮する札響との演奏は忘れられません。今回は新年の最初に好きな曲を弾かせて頂けるのが、とても嬉しいですね」

ラフマニノフの3番は、ピアニズムと音楽の両面に惹かれている。

「大ピアニストだったラフマニノフですから、ピアノの能力がこれ以上ないほど駆使され、あらゆるテクニックが盛り込まれています。また音楽的にも、オリエンタルな雰囲気と新天地アメリカへの思いが融合した新鮮さにそそられます。ラフマニノフは、物凄く器用な面と不器用な面があり、ピアノの技法や楽曲を書く才能はありながら、メンタル面では人の評価が気になって悩みに陥ります。この曲には、その2つの要素を超えた覚悟と希望が織り込まれており、そこが切なくて胸に迫る。第1楽章は、新天地に向けて作ったにもかかわらず、亡命後に第三国から人生を振り返るような思いが感じられますし、2つ書いたカデンツァにかける情熱にも惹かれます。第2楽章はどっぷりとロシアで、第3楽章は新天地アメリカの輝かしい情景。こうした各楽章の役割の違いも魅力ですね」

テクニック的にも弾き甲斐がある作品だ。

「音符がギッチリ詰まって黒々とした楽譜に、本来は自分が話したくて仕方がないとの思いが表れています。ただシンプルな出だし等には寡黙な人柄が出ていますね。全体に全ての音が聞きとれないほど混み入っていますが、細かな音は重要な音を引き立たせるためにあるのだと思います。洋服に例えれば、質感や形や色が主要で、よく見ると刺繍で細かな柄が施されているようなイメージ。何れにしても、よほどピアノが上手い人でないと作れないでしょう。普通の作曲家が書いたら、奏者から『弾けない』と言われるほど大変なのですが、本人が初演者で素晴らしく弾いているから、それは言えない。その意味で後世のピアニスト魂に火を付けた作品かもしれません」

今回の指揮は、2011年ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝後、内外で活躍する垣内悠希。俊英ながらすでに小山とは3回共演し、彼女も信頼を寄せている。

「ラフマニノフの3番は2回共演し、内1回は今回と同じ都響でした。初共演の前には、わざわざ私の家まで打ち合わせに来られましたが、そんなことは初めて。それほど熱心で、音楽に対する愛情もスコアの読みも深い方だと思います。それに本番は集中力が高い上、吹っ切れて解放されますので、一緒に音楽を作る喜びを感じます」

オーケストラは東京都交響楽団。こちらは長く親密な楽団であり、ラフマニノフの3番は、先のデビュー30周年記念公演のほか、ツアー等でも共演している。

「知性と高度な技量が一体となって音楽に推進力を生み出している、素晴らしいオーケストラ。ラフマニノフの3番は、両者が一体となって進む“ピアノ付きの交響曲”ともいえる作品ですから、ご一緒できるのが楽しみです」

東京文化会館とはむろん付き合いが深く、これまでに大小両ホール合わせて40回ほど出演している。

「毎日横を通る藝大生にとっては身近で、当時からの殿堂でもあります。自分のステージもそうですが、聴いた回数は数え切れません。ここは、楽器の音がきちんと響くので、音質の良し悪しが如実に出ます。楽器の空気感やクリアな音楽が自然に伝わる、いわば俳句のように言葉の純度を極めた音が聴こえるホールだと思います」

演奏者、演目、ホールと全てに条件が揃った本公演で、快い新年のスタートを切ろう！

公演情報 P11参照

interview 05

舞台芸術創造事業
ストラヴィンスキー「兵士の物語」

黒木岩寿（演出・コントラバス）

**ストラヴィンスキーの実験的舞台作品が
当館に再び登場。博識で知られる黒木岩寿が
演出を手掛け、実力派アンサンブルが集結。**

取材・文／東端哲也（音楽ライター）

ー黒木さんにとって最初の《兵士の物語》体験は？

藝大時代に仲間たちと一緒に演奏したのが最初ですね。聴いている分にはおもちゃ箱をひっくり返したような…というか遊園地みたいな楽しい音楽なのですが、譜面を開くとやたら変拍子で凄く難しくて、面食らったのをよく覚えています。それはストラヴィンスキー作品全般に云えることで、東京フィルでもやった《春の祭典》とか、原始のワイルドなエネルギーを感じさせつつも知的かつ現代人の耳にもモダンで、個人的にも大好きなのですが演奏するのはたいへん（笑）。西洋音楽が行き着くところまで到達した、究極の作曲家のひとりだと思います。

ー来年3月に小ホールで行われる公演は、2013年2月に「ムジカーザ」で初演したものがベースになっているとか。「語り手」に狂言方能楽師の安東伸元さん、その弟子の井上放雲さんを「兵士の声」に起用し、「和」のテイストを融合させた演出でも話題を呼んだ、あの舞台がまた観られるわけですね。

自分でも好きでよく観たりずっと勉強している能の世界に「三卑賤」と呼ばれる有名な3曲（阿漕（あこぎ）、善知鳥（うとう）、鵜飼（うかい））があって、いずれも殺生を業とする漁師の執心による地獄の苦しみを主題にした話なのですが、そこで描かれる人間の「業」と《兵士の物語》が持つテーマに何か通じるものを感じたからなのです。つまり西洋では擬人化される「悪魔」の概念って、日本人にとっては人間の心の中で生まれてそこに巣食う存在なのかなと思って。そう考えると、舞台に登場する兵士や悪魔が能の「シテ方」や「ワキ方」で、朗読者として彼らの台詞や内なる声を担当するのが「狂言方」という分業がしっくりきたんです。

ー兵士を演じたパントマイム大道芸人の KAMIYAMA さん、悪魔役のパフォーマー、ウヴェ・ワルターさんも続投。非常に個性的で存在感のあるお二人です。

KAMIYAMAくんとはもう15年来のつきあいになるでしょうか。僕がコントラバスを弾いて彼がマイムを演じるデュオの活動をずっと続けていて、いつも難解な現代音楽に合わせて見事な動きで魅せてくれます。一方、旧東ドイツ生まれのウヴェさんは欧州で70年代から活躍する伝説のパフォーマーでありながら、今は京都の山奥に住んで日本の古典芸能にも通じた方。あんな金髪アフロヘアーなのにバリバリの京都弁で流暢に話される（笑）。まさにこれ以上はない最高のキャスティングです。

ー実力派の演奏陣からなるアンサンブルもほぼ同じメンバーでの出演が決定していますね。

この作品の重要な小道具であり、兵士の「良心」の象徴とも解釈できるのがヴァイオリンです。その演奏を担当するのは長年に渡り東京フィルのソロ・コンサートマスターを務められていた名手・荒井英治さん。現代ものから、モルゴーア・クァルテットによるプログレッシヴ・ロックまでレパートリーも幅広く、バンドネオンの三浦一馬くんを囲む演奏メンバーとして既に何度も共演を重ねていて、その実力の程は保証済み。また、トランペットの長谷川智之くんも素晴らしく、明るい旋律を吹いているのに、どこか不吉な匂いのするようなニュアンスを絶妙に出してくれる。そんな選りすぐりの人たちばかりを集めたアンサンブルでまた《兵士の物語》をやれるのが楽しみで仕方ないです。

ー黒木さん自身も、東京フィルハーモニー交響楽団の首席コントラバス奏者として活躍しつつ、自ら企画されたレクチャー・コンサート「文化人類学講座」などでも好評を博している異才の人です。

いろんなことに興味をもって、とことん探究して行くのが好きなんですね。「文化人類学講座」はそんな自分にとってのライフワークにするつもりで始めた企画で、作曲家や作品についてその背景にある歴史や文化、美術・建築などを交えて説明したり、西洋と東洋を比べたり、一見関係ないもの同士を結びつけてみたり、毎回違ったテーマで楽しく学びながら音楽を聴いて貰おうという試みです。まあ面白いアイデアはたくさんあるんですが、それを具体化させるにはきっかけが必要で、でも何と何がどう繋がるか予想がつかないし、時間をかければ必ずみつかるというわけでもない…とにかく勉強を続けるしかないですね。

ーきっと「ムジカーザ」の時とはまた、ひと味違う《兵士の物語》になりそうですね。

観客の皆さんの想像力を刺激して、ステージと客席がイマジネーションの世界で一体化するような公演を、ここ東京文化会館の小ホールでも実現したい。ストラヴィンスキー作品が初めてという方にもぜひ、足を運んで貰えたら嬉しいです。

公演情報 P10参照

東京文化会館開館55周年・日本ベルギー友好150周年記念 オペラ「眠れる美女 ~House of the Sleeping Beauties~」【日本初演】【原語(英語)上演(日本語字幕付)・日本語台詞】

大ホール

川端康成『眠れる美女』を原作とする現代オペラ 待望の日本初演！

12月10日(土) 15:00・11日(日) 15:00

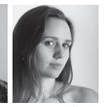
原 作 川端康成
作 曲 クリス・デフォート
台 本 ギー・カシアス／クリス・デフォート／マリアンヌ・フォン・ケルホーフェン
ドラマトゥルク マリアンヌ・フォン・ケルホーフェン
指 揮 パトリック・ダヴァン
演 出 ギー・カシアス
振 付 シディ・ラルビ・シェルカウイ
出 演 老人(バリトン)：オマール・エイブライム
女(ソプラノ)：カトリン・バルツ
老人(俳優)：長塚京三
館の女主人(俳優)：原田美枝子
眠れる美女(ダンサー)：伊藤郁女(かおり)
眠れる美女たち(コーラス)：原 千裕、林 よう子、吉村 恵、塩崎めぐみ
管弦楽：東京藝大シンフォニエッタ
スタッフ 美術：エンリコ・バニョーリ／アリエン・クレルコ
照明：エンリコ・バニョーリ
衣裳：ティム・ファン・シュテーンベルゲン
舞台監督：菅原多敢弘

クリス・デフォート ©Kurt Van der Elst

ギー・カシアス ©Kurt Van der Elst

パトリック・ダヴァン ©Julien Pohl

シディ・ラルビ・シェルカウイ ©Kurt Van der Elst

オマール・エイブライム ©Kurt Van der Elst

カトリン・バルツ ©Claudia Hansen

長塚京三

原田美枝子 ©平岩享

伊藤郁女 ©Kurt Van der Elst

原 千裕

林 ようこ

吉村 恵

塩崎めぐみ

料 金 S席13,000円 A席10,000円 B席8,000円 C席5,000円 D席3,000円 ※各種割引あり

ストラヴィンスキー「兵士の物語」

小ホール

リサイタルや室内楽として使われる小ホールの空間を活かした実験的、前衛的な舞台芸術作品を創造・発信します。

平成29年3月18日(土) 15:00

音 楽 イーゴリ・ストラヴィンスキー
演 出 黒木岩寿
出 演 語り手：安東伸元(狂言方能楽師)
兵士の声：井上放雲(狂言方能楽師)
兵士：KAMIYAMA (パントマイム)
悪魔：ウヴェ・ワルター (パフォーマー)
演 奏 ヴァイオリン：荒井英治
コントラバス：黒木岩寿
クラリネット：生方正好
ファゴット：吉田 將
トランペット：長谷川智之
トロンボーン：倉田 寛
パーカッション：高野和彦
スタッフ 照明：足立 恒
舞台監督：柴崎 大

安東伸元

井上放雲

KAMIYAMA

ウヴェ・ワルター

荒井英治

黒木岩寿

生方正好

吉田 將 © 読売日本交響楽団

長谷川智之

倉田 寛

高野和彦

料 金 S席5,800円 A席3,800円 B席2,000円(売切) ※各種割引あり

第14回東京音楽コンクール 優勝者＆最高位入賞者コンサート

大ホール

第14回東京音楽コンクールを制した各部門の優勝者＆最高位入賞者が、ソリストとしてオーケストラと共演。
東京文化会館から羽ばたく新進アーティストの熱演に、どうぞご期待ください。

平成29年1月9日(月・祝) 15:00

出 演 ピアノ：チョン・キュビン ＊ピアノ部門第1位
テューバ：木村皓一 ＊金管部門第2位〈最高位〉及び聴衆賞
バリトン：アン・ジョンミン ＊声楽部門第1位及び聴衆賞
指揮：園田隆一郎
管弦楽：読売日本交響楽団
司会：朝岡 聡
曲 目 クーツィール：テューバと弦楽オーケストラのための小協奏曲 op.77
トマ：歌劇「ハムレット」より“酒よ憂さを晴らせ”
コルンゴルト：歌劇「死の都」より“わが憧れ、わが幻”(ピエロの歌)
ヴェルディ：歌劇「ドン・カルロ」より“私の最後の日が来ました～私は死に行きます”
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番 ハ短調 op.37 他

チョン・キュビン

木村皓一

アン・ジョンミン

園田隆一郎 ©Fabio Parenzan

朝岡 聡

料 金 指定2,000円 ※各種割引あり

《響の森》vol.39 「ニューイヤーコンサート2017」

大ホール

2017年の「聴き初め」は東京文化会館で！
東京都交響楽団と多数共演する小山実稚恵によるラフマニノフを中心にお楽しみください。

平成29年1月3日(火) 15:00

出 演 指揮：垣内悠希
ピアノ：小山実稚恵
管弦楽：東京都交響楽団
曲 目 チャイコフスキー：
幻想序曲「ロメオとジュリエット」
ボロディン：歌劇「イーゴリ公」より“だったん人の踊り”
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番 ニ短調 op.30

垣内悠希 ©Jean Philippe Raibaud

小山実稚恵 ©ND CHOW

料 金 S席6,200円 A席4,100円 B席2,100円 ※各種割引あり

プラチナ・シリーズ MPT

小ホール

「奇跡の音響」と称される小ホールで、
一流アーティストによる珠玉のコンサートで贅沢なひとときを。

第5回 渡辺貞夫 ～ジャズ界のスーパー・レジェンド～

平成29年2月17日(金) 19:00

出 演 SADAO WATANABE Night with Young Lions
アルトサックス：渡辺貞夫
ピアノ：クリスチャン・サンズ
ベース：ベン・ウィリアムス
ドラムス：ケンドリック・スコット
曲 目 当日発表

渡辺貞夫 ©Masaya Takagi

クリスチャン・サンズ

ベン・ウィリアムス

ケンドリック・スコット

料 金 S席5,000円 A席4,000円 B席2,500円(予定枚数終了)

モーニングコンサート

小ホール

500円で楽しむ、東京音楽コンクールの入賞者による朝の1時間のコンサート。

vol.100 12月16日(金) 11:00～12:00

出 演 ヴァイオリン：周防亮介＊第9回弦楽部門第1位及び聴衆賞
ピアノ：三又瑛子
曲 目 パガニーニ：ロッシーニの歌劇『タンクレディ』のアリア「こんなに胸騒ぎが」による序奏と変奏曲 op.13
パガニーニ：ロッシーニの歌劇『エジプトのモーゼ』の「汝の星をちりばめた王座に」の主題による変奏曲 他

周防亮介

vol.101 平成29年1月13日(金) 11:00～12:00

出 演 ピアノ：小林海都 ＊第11回ピアノ部門第2位
曲 目 モーツァルト：ピアノ・ソナタ第8番 イ短調
シューベルト：ピアノ・ソナタ第4番 イ短調 他

小林海都

vol.102 平成29年2月14日(火) 11:00～12:00

出 演 バリトン：清水勇磨 ＊第13回声楽部門第1位
ピアノ：藤川志保
曲 目 レオンカヴァッロ：歌劇「道化師」より“失礼いたします。紳士、淑女の皆さん方”
ヴェルディ：歌曲「6つのロマンス」より 6.乾杯 他

清水勇磨

vol.103 平成29年3月8日(水) 11:00～12:00

出 演 コントラバス：白井菜々子 ＊第13回弦楽部門第3位
ピアノ：山崎早登美
曲 目 エルガー：愛の挨拶
モンティ：チャルダッシュ 他

白井菜々子

料 金 自由500円 (Vol.100・101：予定枚数終了)

創遊・楽落らいぶ —音楽家と落語家のコラボレーション—

小ホール

落語と音楽のコラボレーションをお楽しみください。

vol.36 平成29年1月25日(水) 19:00～20:20 (終演予定)

出 演 落語：桂 文治
ギター：渡辺香津美
内 容 ミニコンサート
落語と音楽のコラボレーション
「うどんや」

桂 文治

渡辺香津美 ©Yosuke Komatsu (ODD JOB)

vol.37 平成29年3月3日(金) 11:00～12:00

料 金 Vol.36：自由1,000円(販売中)／Vol.37：自由500円(12月16日(金)発売)

ティータイムコンサート

大ホールホワイエ

昼下がりのひととき、大ホールホワイエで行う東京都交響楽団メンバーによる無料コンサートをお楽しみください。

平成29年1月11日(水)・2月27日(月) 13:00～13:40

出 演 東京都交響楽団メンバー

料 金 入場無料

チケットはこちらから

- TS **東京文化会館チケットサービス**／03-5685-0650 http://www.t-bunka.jp/ticket/
- 都響 **都響ガイド**／03-3822-0727 http://www.tmso.or.jp/
- ぴあ **チケットぴあ**／0570-02-9999 http://t.pia.jp/
- e+ **イープラス**／ http://eplus.jp/t-bunka/
- ローソンチケット **ローソンチケット**／0570-000-407 http://l-tike.com/

※公演により取扱のないプレイガイドもございます。
※都合により内容が変更となる場合がございますのでご了承ください。
※未就学児の入場はご遠慮ください。
(一部のコンサート／ワークショップを除く)
※料金は税込みです。

■お問合せ
東京文化会館事業企画課 03-3828-2111(代表)
www.t-bunka.jp Twitter@tbunka_official

まちなかコンサート MPT

小ホール

東京音楽コンクール入賞者等が出演し、都内文化施設や小ホールでコンサートを開催します。

Vol.2 よりみちコンサート

12月22日(木) 19:00〜20:00

出 演 トランペット：多田将太郎 ＊第8回金管部門第1位及び聴衆賞
トランペット：川村 大、岡村 牧♪
ホルン：杉崎 瞳♪
トロンボーン：上田智美 ＊第3回金管部門第2位〈最高位〉
トロンボーン：井上 亮♪、小篠亮介
テューバ：石丸菜菜♪
パーカッション：矢野顕太郎

曲 目 ガーシュウィン・イン・ブラス
カンプラー：「華麗なるヨーロッパ」より
クリスマスメドレー 他

多田将太郎
©Takumi Jun

上田智美

♪芸劇ウィンド・オーケストラ・アカデミー メンバー

Vol.3 ムジカ・アモーレ

平成29年2月11日(土・祝) 14:00開演

出 演 ヴァイオリン：瀧村依里 ＊第3回弦楽部門第1位
ヴァイオリン：小川響子 ＊第10回弦楽部門第1位及び聴衆賞
ヴィオラ：渡邉千春 ＊第2回弦楽部門第3位
チェロ：加藤文枝 ＊第7･8回弦楽部門第2位
フルート：梶川真歩 ＊第11回木管部門第3位
オーボエ：吉村結実 ＊第9回木管部門第3位
クラリネット：コハーン・イシュトヴァーン ＊第11回木管部門第1位及び聴衆賞
ファゴット：鈴木一成 ＊第13回木管部門第1位
ホルン：氏家 亮 ＊第10回金管部門第3位及び聴衆賞
ピアノ：居福健太郎 ＊第5回ピアノ部門第3位
ナビゲーター：宮本文昭

曲 目 マスネ：タイスの瞑想曲
ボロディン：弦楽四重奏曲第2番より第1楽章
シューマン：3つのロマンスより
ピアソラ(コハーン・イシュトヴァーン編曲)：アディオス・ノニーノ 他

瀧村依里

小川響子

渡邉千春

加藤文枝

梶川真歩

吉村結実

コハーン・
イシュトヴァーン

鈴木一成

氏家 亮

居福健太郎

宮本文昭
©有田周平

料 金 Vol.2：自由500円、Vol.3：自由1,000円

バックステージツアー

大ホール他

舞台編では出演者やスタッフの気分を味わい、建築編では建物の秘密に迫ります。

〈舞台編〉
平成29年1月26日(木) 14:30／19:00

〈建築編〉
平成29年2月7日(火) 14:30／19:00

料 金 参加料500円(保険料含む) ※中学生以上

Workshop Workshop! 〜国際連携企画〜 MPT

〜0歳から大人まで〜見つけよう、音楽で広がる新しい世界 ポルトガルの音楽施設「カーザ・ダ・ムジカ」等と連携し、様々なワークショップを開催します。

東京文化会館ミュージック・ワークショップ

大ホールホワイエ(12月) リハーサル室 (2月)

12月4日(日)
「ムジカ・ピッコラ」
10:30／13:30／16:30
(障害をもった方(小学生以上)及びご家族、介助者対象)

ムジカ・ピッコラ
©Mino Inoue

平成29年2月26日(日)
「旅するヨーロッパ」
10:30(6〜18ヶ月)／
12:00(19〜35ヶ月)
「カラダ・オト・ウタウ」
14:30(小学生〜大人)

旅するヨーロッパ
© ヒダキトモコ

カラダ・オト・ウタウ

料 金 12月：無料(事前申込制。詳細はチラシやホームページをご覧ください)／2月：参加料500円(「旅するヨーロッパ」予定枚数終了)

東京文化会館ミュージック・ワークショップ in 立川

たましん RISURU ホール(立川市市民会館)

平成29年1月21日(土)
「咲かせよう！音楽の花」
10:30(6〜18ヶ月)／
13:00(19ヶ月〜3歳)
「Music Clock」
11:00(4歳〜6歳)／
14:00(小学生〜大人)

咲かせよう！音楽の花
©Mino Inoue

Music Clock

平成29年1月22日(日)
「タネまき、タネまき、大きくなあれ！」
10:30(19ヶ月〜3歳)／
13:00(4歳〜6歳)
「ムジカ・ピッコラ」
11:00(4歳〜6歳)／
14:00(小学生〜大人)

タネまき、タネまき、大きくなあれ！
© 鈴木穣蔵

ムジカ・ピッコラ
©Mino Inoue

料 金 参加料300円(事前申込制。詳細はチラシやホームページをご覧ください)

COLUMN プロセニアムのスター達 vol.06

インバルのベートーヴェン

文／友部 衆樹(音楽ライター)

エリアフ・インバルは、言うまでもなくマーラーのスペシャリストである。東京都交響楽団との2度にわたるマーラー・ツィクルス(1994〜96年／2012〜14年)が日本のオーケストラ史に与えた鮮烈なインパクトは記憶に新しい。またブルックナーやショスタコーヴィチなどにおける豪壮な響きと堅固な造形も評価が高い。

だが、本稿ではインバルのベートーヴェンについて考えてみたい。古典派のエッセンスであるベートーヴェンの交響曲にこそ、彼の芸術が端的に現れているからだ。

マーラー・ツィクルスの陰であまり注目されなかったが、インバルは東京都交響楽団プリンシパル・コンダクター在任(2008〜14年)中にベートーヴェンの交響曲を集中的に採り上げている。2009年4月の第3番《英雄》に始まり、同年11月の第7番、2010年3月の第5番《運命》、同年11月の第1番と第8番、2013年1月の第4番、同年12月の第9番《合唱付》(第9は2007年と2015年にも指揮)。第2番と第6番《田園》が抜けているが、事実上の「ベートーヴェン・ツィクルス」であったと思う。

ここで、現時点におけるインバルのベートーヴェンの集大成である2015年の「第9」を振り返ってみよう。私が聴いたのは12月25日、会場は東京文化会館。

弦は16型のフル編成、木管は人数を2倍にした倍管。低弦を強調して往年の巨匠のような重厚な響きを作る。「鳴らす」のが難しい東京文化会館が文字通り鳴動したのには驚いた。

一方でピリオド後の時代にふさわしく、短めのアーティキュレーションによる切れ味の良さ、見通しの良いテクスチュア、俊敏な運動性をあわせ持つ。結果として、巨大なトレーラーが急カーブを縦横に駆け巡るような、重さと機動性を兼ね備えた疾走感が生まれる。

演奏の第1の特徴は、楽譜へのスタンス。基本はブライトコップフ版だが、第2楽章(スケルツォ)の第2主題ではホルンを加える。楽譜通り旋律を木管だけが担当していては聴こえない、として、往年の大指揮者ワインガルトナーが推奨したやり方だ。それでいて、第4楽章(フィナーレ)のトルコ行進曲直前のフェルマータでは、ティンパニを最後までフォルテシモで叩かせる。これはベーレンライター新版の解釈である。

つまり、ある一つの楽譜を順守するのではなく、「作曲家がやりたかったこと」を洞察し、その実現のため様々な版を参照する。ほとんどの指揮者が多少なりともやっていることだが、インバルは徹底している。彼は若き日にオーケストラのコンサートマスターを経験しており、現場叩き上げタイプの指揮者にも見えるが、曲によっては何種類ものスコアや校訂報告を比較検討する学究肌の一面も持つ。上述の通り、巨匠時代の措置から最新の校訂楽譜までを総合し、音楽的な必然性をもつ「インバル版」とも言える解釈を提示する。オーケストラを前にした時、強烈な説得力が生まれるだろうことは想像に難くない。

東京都交響楽団 第450回定期演奏会 1997年5月7日 東京文化会館 写真／木之下 晃

第2の特徴は、倍管へのこだわり。演奏には本来、テンポやバランスやフレージングなど様々な要素があるけれど、ここではオーケストラの編成、中でも倍管に光を当ててみたい。近年のインバルが都響と演奏したベートーヴェンの交響曲は7曲。そのうち第1、4番はオリジナル編成だったが、第3、5、7、8、9番は倍管だった。

目的は、もちろん音量の増大。現代の2000席のホールに対応するには、作曲当時の編成では音量が足りない。インバル自身、「指揮者は楽器やホールの特性を見極めながら現場で対応していくもの。演奏を決めるのは指揮者であって、学説ではない」と折に触れて語っている。

2016年9月、都響と演奏したシューベルトの交響曲第8番《ザ・グレート》まで倍管だったのには驚いた。歌に満ちた純朴な曲が、輝かしく壮麗な大曲に変貌。《ザ・グレート》の世界はブルックナーに直結していることを実感させてくれた。「正統的」な解釈とは言えないかもしれないが、決してルーティンに陥らず、80歳を迎えた今なお、曲のもつ新しい可能性を示してやまないインバル。この覇気こそが、マエストロの魅力なのだと思う。

大ホール

3 火 15:00
《響の森》vol.39
ニューイヤーコンサート2017
主催公演 P11参照

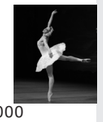
指　揮 垣内悠希
出　演 小山実稚恵（Pf）
管弦楽 東京都交響楽団
曲　目 チャイコフスキー：幻想序曲「ロメオとジュリエット」
ボロディン：歌劇『イーゴリ公』より“だったん人の踊り”
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番
料　金 S6,200 A4,100 B2,100
問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

垣内悠希 ©Jean Philippe Raibaud

小山実稚恵 ©ND CHOW

4 水 15:00
キエフ・バレエ『白鳥の湖』
タラス・シェフチェンコ記念 ウクライナ国立バレエ

演　目 チャイコフスキー：『白鳥の湖』全3幕
振付演出 ワレーリー・コフトゥン
出　演 オデット／オディール：エレーナ・フィリピエワ
ジークフリート王子　：デニス・ニェダク
管弦楽 ウクライナ国立歌劇場管弦楽団
料　金 S15,000 A13,000 B11,000 C9,000 D7,000
問合せ 光藍社チケットセンター 050-3776-6184



5 木 18:30
キエフ・バレエ『眠りの森の美女』
タラス・シェフチェンコ記念 ウクライナ国立バレエ

演　目 チャイコフスキー：『眠りの森の美女』全3幕
振付演出 ヴィクトル・リトヴィノフ
出　演 オーロラ姫：イリーナ・ペレン
デジレ王子：レオニード・サラファーノフ
管弦楽 ウクライナ国立歌劇場管弦楽団
料　金 S15,000 A13,000 B11,000 C9,000 D7,000
問合せ 光藍社チケットセンター 050-3776-6184

6 金 18:30 / 7 土 14:00
キエフ・バレエ『バヤデルカ』
タラス・シェフチェンコ記念 ウクライナ国立バレエ

演　目 レオン・ミンクス：『バヤデルカ』全3幕
振付演出 ワレーリー・コフトゥン
出　演

	(6日)	(7日)
ニキヤ	エレーナ・フィリピエワ	イリーナ・ペレン
ソロル	デニス・ニェダク	レオニード・サラファーノフ
ガムザッティ	イリーナ・ペレン	オレシア・シャイタールワ

管弦楽 ウクライナ国立歌劇場管弦楽団
料　金 S15,000 A13,000 B11,000 C9,000 D7,000
問合せ 光藍社チケットセンター 050-3776-6184

8 日 10:00
平成28年度 東京都高等学校文化祭 音楽部門中央大会

出　演 東京都高等学校文化連盟加盟校 各地区代表
曲　目 各地区団体による、合唱・管弦楽・吹奏楽
料　金 入場無料
問合せ 青山高等学校内 音楽部門事務局 03-3404-7801

9 月・祝 15:00
第14回東京音楽コンクール 優勝者＆最高位入賞者コンサート
主催公演 P6~7,10参照

指　揮 園田隆一郎
出　演 チョン・キュビン（Pf）
木村皓一（Tu）
アン・ジョンミン（Br）
朝岡 聡（司会）
管弦楽 読売日本交響楽団
曲　目 クーツィール：テューバと弦楽オーケストラのための小協奏曲
ヴェルディ：歌劇「ドン・カルロ」より“私の最後の日が来ました”
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番
料　金 指定2,000
問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

園田隆一郎 ©Fabio Parenzan

チョン・キュビン

木村皓一

アン・ジョンミン

14 土 / 15 日 14:30
谷桃子バレエ団 新春公演『ドン・キホーテ』

演　目 レオン・ミンクス：『ドン・キホーテ』全3幕
出　演

	(14日)	(15日)
キトリ	佐藤麻利香	雨宮 準
バジル	齊藤 拓	三木雄馬

指　揮 磯部省吾
管弦楽 神奈川フィルハーモニー管弦楽団
料　金 S12,000 A10,000 B8,000 C6,000 D4,000 E3,000
問合せ 谷桃子バレエ団 03-5726-8731

©谷岡秀昌　©谷岡秀昌

21 土 18:00 / 22 日 13:30・18:00
2017都民芸術フェスティバル参加公演
日本バレエ協会『ラ・バヤデール』

演　目 レオン・ミンクス：『ラ・バヤデール』全3幕
出　演

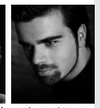
	(21日)	(22日昼)	(22日夜)
ニキヤ	酒井はな	瀬島五月	長田佳世
ソロル	浅田良和	芳賀 望	橋本直樹
ガムザッティ	堀口 純	法村珠里	馬場 彩

指　揮 アレクセイ・バクラン
管弦楽 ジャパン・バレエ・オーケストラ
料　金 SS12,000 S10,000 A8,000 B6,000 C4,000
※4歳以上入場可
問合せ 日本バレエ協会 03-5437-0372

23 月 19:00
東京都交響楽団 第824回定期演奏会 Aシリーズ
P21参照

指　揮 小泉和裕
出　演 ヨシフ・イワノフ（Vn）
曲　目 ウェーバー：歌劇『オイリアンテ』序曲
チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲
グラズノフ：交響曲第5番
料　金 S6,500 A5,500 B4,500 C3,500 Ex1,800
問合せ 都響ガイド 03-3822-0727

小泉和裕 ©堀田力丸


ヨシフ・イワノフ ©éric larrayadieu /naïve

24 火 19:00
都民劇場音楽サークル第643回定期公演
ベルリン・フィル八重奏団

出　演 樫本大進（1st.Vn）ロマーノ・トマシーニ（2nd.Vn）
アミハイ・グロス（Va）クリストフ・イゲルブリンク（Vc）
エスコ・ライネ（Cb）ヴェンツェル・フックス（Cl）
シュテファン・ドール（Hr）モル・ビロン（Fg）
曲　目 ニールセン：軽快なセレナード
ドヴォルザーク／シェーファー編：5つのバガテル
シューベルト：八重奏曲
料　金 S8,500 A7,000 B6,000 C4,500
問合せ 都民劇場 03-3572-4311

©Simon Pauly

26 木 14:30・19:00
東京文化会館バックステージツアー〈舞台編〉
主催公演 P12参照

参加費 500（保険料含む）
対　象 中学生以上／各回60名限定
※階段の昇降がございます。あらかじめご了承ください。
問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

休館日：1日（日）・2日（月）・16日（月）・17日（火）

小ホール

4 水 15:00
ズーラシアンブラス ニューイヤーコンサート

出　演 ズーラシアンブラス（金管五重奏）弦うさぎ（弦楽四重奏）
ベルガモット（クラリネット）
曲　目 ブラス DE 大喜利 他
料　金 S3,000 A2,000 B1,000
問合せ スーパーキッズ 042-765-7284

5 木 14:00
サウンド オブ ザ スカイ 早川りさこ（Hp）＆植草ひろみ（Vc）

曲　目 ピアソラ：Cafe 1930 他
料　金 指定4,000
問合せ プランニングオフィス ネイチャ 045-433-6274

6 金 19:00
森田耕一郎 メモリアルコンサート

出　演 森田基子（Pf）
サンフランシスコ オペラ劇場オーケストラメンバー
アンサンブル・ユマニテ有志
曲　目 ドビュッシー：水の反映 他
料　金 自由5,000
問合せ ゼール音楽事務所 03-3995-5221

7 土 13:00
Fascination Concertos! 4名の若手気鋭のピアニストの饗宴「2台ピアノ協奏曲の午後」

出　演 小林海都 務川慧悟 黒岩航紀 實川 風（Pf）
曲　目 ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲 他
料　金 指定4,000
問合せ サポート・アーティスツ・アソシエーション 050-3695-5678

9 月・祝 14:00
佐々木典子＆大澤一彰 デュオリサイタル

出　演 佐々木典子（S）大澤一彰（T）仲田淳也（Pf）
曲　目 プッチーニ：歌劇『ラ・ボエーム』より 他
料　金 自由5,000
問合せ 二期会チケットセンター 03-3796-1831

10 火 未定
第10回 ベーテン音楽コンクール全国大会

出　演 12月中旬発表予定
料　金 入場無料（関係者のみ）
問合せ ベーテン音楽協会 0847-62-4382

11 水 18:30
新進演奏家育成プロジェクト リサイタル・シリーズ TOKYO58 今井俊輔 バリトンリサイタル

出　演 今井俊輔（Br）小林茉莉花（Pf）
曲　目 トスティ：君なんかもう 他
料　金 自由2,500
問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131

12 木 19:00
東京室内管弦楽団 Chamber Music Style op.6

出　演 藤井亜紀（Pf）吉田雅信（Fl）物集女純子（Vn）
菅野宏一郎（指揮・Cem）
曲　目 J.S.バッハ：ピアノ協奏曲第3番 他
料　金 自由4,000
問合せ 東京室内管弦楽団 03-6459-0512

13 金 11:00 / 19:00
東京文化会館 モーニングコンサート Vol.101
主催公演 P11参照

出　演 小林海都（Pf）
曲　目 モーツァルト：ピアノソナタ第8番 他
料　金 自由500
問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

佐野隆哉 ピアノリサイタル

曲　目 ショパン：24の前奏曲 他
料　金 自由4,000 学生2,500
問合せ ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

14 土 14:00
吉岡孝悦 ニューイヤーマリンバコンサート

出　演 吉岡孝悦（Mar）塩浜玲子（Mar）
曲　目 エルガー：威風堂々 他
料　金 自由4,000（当日4,500）
問合せ スーパーマリンバプロジェクト 090-2768-6386

15 日 14:30
日本テレマン協会 第239回定期演奏会

出　演 延原武春（指揮）テレマン室内オーケストラ
曲　目 テレマン：食卓の音楽 第3集
料　金 自由3,500（当日4,000）65歳以上2,000
問合せ 日本テレマン協会 06-6345-1046

18 水 19:00
ムジカ・ポヘミカ 第32回ピアノ演奏会 ヤン ホラーク教授メモリアル

出　演 丸井裕美 金久保裕之 佐々木祐子 伊藤麻衣子（Pf）
曲　目 ドヴォルザーク：詩的な音画 より 他
料　金 自由3,500
問合せ ムジカ・ポヘミカ（加藤）045-822-8740

19 木 19:00
2017都民芸術フェスティバル参加公演 室内楽シリーズ No.16「3大Bソナタの夕べ」

出　演 山崎伸子（Vc）野平一郎（Pf）
曲　目 ベートーヴェン：チェロソナタ第3番 他
料　金 指定3,000
問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131

20 金 19:00
シューマン 3つの情景

出　演 西田典子（S）菱沼智明（Pf）
曲　目 シューマン：詩人の恋 他
料　金 自由4,000 学生2,000
問合せ 音楽工房カスターリエン 045-932-4472

21 土 14:00
ロマンティック・クラシック 藤木大地カウンターテナーリサイタル

出　演 藤木大地（CT）多田聡子（Pf）
曲　目 J.シュトラウス2世：喜歌劇『こうもり』より“私は客を招くのが好き”他
料　金 指定4,500
問合せ MIN-ON インフォメーションセンター 03-3226-9999

22 日 13:30
天満敦子 無伴奏ヴァイオリンコンサート

曲　目 望郷のバラード 他
料　金 指定4,600
問合せ 東京音協 03-5774-3030

23 月 19:00
モルゴーア・クァルテット 第45回定期演奏会

曲　目 ヴァインガルトナー：弦楽四重奏曲第3番 他
料　金 自由4,000 学生2,000
問合せ ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

24 火 19:00
新進演奏家育成プロジェクト リサイタル・シリーズ TOKYO59 羽藤尚子 ヴィオラリサイタル

出　演 羽藤尚子（Va）鈴木慎崇（Pf）
曲　目 ヒンデミット：無伴奏ヴィオラソナタ op.25-1 他
料　金 自由2,500
問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131

25 水 19:00
創遊・楽落“夜”らいぶ Vol.36
主催公演 P11参照

出　演 桂 文治（落語）渡辺香津美（Gt）
演　目 ミニコンサート
落語と音楽のコラボレーション「うどんや」
料　金 自由1,000
問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

26 木 19:00
ウルトラ・ピアノデュオ 88×88＝田中正也×佐藤卓史

曲　目 ストラヴィンスキー／バビン編曲：「ペトルーシュカ」からの3つの楽章 他
料　金 自由3,500（当日4,000）学生1,500（当日2,000）
問合せ 田中正也×佐藤卓史 ウルトラ・ピアノデュオ事務局（關谷）080-6205-8285

27 金 18:45
日本モーツァルト協会 第585回例会

出　演 福間洸太朗（Pf・指揮）東京交響楽団メンバー
曲　目 モーツァルト：ピアノ協奏曲第24番 ハ短調 K491 他
料　金 自由6,000 学生2,000
問合せ 日本モーツァルト協会 03-5467-0626

28 土 14:00
竜馬四重奏 The Live 2017 東京事変

出　演 竜馬（Vn）雅勝（三味線）翠（篠笛）仁（鼓）
曲　目 アルバム「NEO ZIPANG」より
料　金 指定5,000
問合せ Ro-Onチケット 047-365-9960

29 日 14:00
ソルフェージスクール 創立55周年記念演奏会

出　演 亀井由紀子（Vn）水野紀子（Pf）ソルフェージスクール室内合奏団
ソルフェージスクール合唱団 レ・グルヌイユ レ・テタール
曲　目 ロジャース：サウンド・オブ・ミュージック 他
料　金 自由4,000 4歳～高校生2,500
問合せ ソルフェージスクール 03-3953-8517

30 月 18:30
日本オーボエ協会（JOA） 吉成行藏先生 似鳥健彦先生 追悼演奏会

出　演 北島 章 小畑善昭 辻 功 山本直人 広田智之（Ob）他
曲　目 平尾貴四男：オーボエソナタ 他
料　金 自由3,000 学生1,500
問合せ 日本オーボエ協会事務局 joa.jitsumu@gmail.com

31 火 19:00
佐伯周子（Pf）シューベルト完全全曲演奏会 第20回

曲　目 シューベルト：ピアノソナタ第18番「幻想ソナタ」他
料　金 自由3,000 学生1,000
問合せ ピアノミュージックジャパン（高本）080-5528-3281

休館日：1日（日）～3日（火）・16日（月）・17日（火）

大ホール

3(金) 18:30 / 4(土) / 5(日) 14:00

2017都民芸術フェスティバル参加公演 藤原歌劇団公演『カルメン』

演　目 ビゼー：歌劇『カルメン』新制作
指　揮 山田和樹
演　出 岩田達宗
出　演

	(3日・5日)	(4日)
カルメン	：ミリヤーナ・ニコリッチ	ゴーシャ・コヴァリンスカ
ドン・ホセ	：笛田博昭	藤田卓也
エスカミーリョ	：須藤慎吾	王 立夫(ワン・リーフ)
ミカエラ	：小林沙羅	伊藤 晴
スニガ	：伊藤貴之	田島達也
モラレス	：押川浩士	月野 進
フラスキータ	：平野雅世	尾形志織
メルセデス	：米谷朋子	増田 弓
ダンカイロ	：安東玄人	坂本伸司
レメンダード	：狩野 武	琉子健太郎

合　唱 藤原歌劇団合唱部
児童合唱 東京少年少女合唱隊
舞　踊 平 富恵スペイン舞踊団
管弦楽 日本フィルハーモニー交響楽団
料　金 S14,800 A12,800 B10,800 C8,800 D5,800 E3,000
問合せ 日本オペラ振興会チケットセンター 044-959-5067

山田和樹 ©Yoshinori Tsuru

ミリヤーナ・ニコリッチ

ゴーシャ・コヴァリンスカ

7(火) 14:30 19:00

東京文化会館バックステージツアー〈建築編〉たてものツアー

主催公演 P12 参照

参加費 500(保険料含む)
対　象 中学生以上／各回40名限定
※階段の昇降がございます。あらかじめご了承ください。
問合せ 東京文化会館 経営管理課 03-3828-2111

15(水) 18:30 / 16(木) / 18(土) / 19(日) 14:00

2017都民芸術フェスティバル参加公演 東京二期会オペラ劇場『トスカ』 ～ローマ歌劇場との提携公演～

演　目 プッチーニ：歌劇『トスカ』全3幕《新制作》
イタリア語上演／日本語字幕付
指　揮 ダニエーレ・ルスティオーニ
演　出 アレッサンドロ・タレヴィ
出　演

	(15日・18日)	(16日・19日)
トスカ	：木下美穂子	大村博美
カヴァラドッシ	：樋口達哉	城 宏憲
スカルピア	：今井俊輔	直野 資
アンジェロッティ	：長谷川 寛	山口邦明
堂守	：米谷毅彦	峰 茂樹
スポレッタ	：坂本貴輝	髙梨英次郎
シャルローネ	：増原英也	高橋祐樹
看守	：清水宏樹	大井哲也

合　唱 二期会合唱団
管弦楽 東京都交響楽団
料　金 S15,000 A13,000 B10,000 C8,000
D6,000 E2,000 学生2,000
問合せ 二期会チケットセンター 03-3796-1831／
チケットスペース 03-3234-9999

ダニエーレ・ルスティオーニ ©Davide Cerati

木下美穂子 ©Yoshinobu Fukaya/aura.Y2

大村博美

休館日：20日(月)・21日(火)

22(水) 19:00

警視庁音楽隊 グランドコンサート

指　揮 藤崎 凡
出　演 警視庁音楽隊
警視庁音楽隊カラーガード "MEC"(メック)
料　金 無料(要事前申込・当日座席指定券引換)
締切日：平成29年1月13日(金)必着
問合せ 警視庁音楽隊 03-3581-4321(代表)

23(木) 19:00

都民劇場音楽サークル第644回定期公演 ファウスト＆ケラス＆メルニコフ

出　演 イザベル・ファウスト(Vn)
ジャン＝ギアン・ケラス(Vc)
アレクサンドル・メルニコフ(Pf)
曲　目 シューマン：ピアノ三重奏曲第3番
エリオット・カーター：エピグラム(2012)
シューベルト：ピアノ三重奏曲第1番
料　金 S8,500 A7,000 B6,000 C4,500
問合せ 都民劇場 03-3572-4311

25(土) 18:00 / 26(日) 14:00

NBAバレエ団『ロミオとジュリエット』

演　目 プロコフィエフ：『ロミオとジュリエット』全3幕
振　付 マーティン・フリードマン
出　演

	(25日)	(26日)
ジュリエット	：峰岸千晶	竹内 碧
ロミオ	：ウラジミール・シクリャローフ	宮内浩之

指　揮 冨田美里
管弦楽 ロイヤルチェンバーオーケストラ
料　金 SS12,000 S10,000 A8,000 B6,000
問合せ NBAバレエ団事務局 04-2937-4931

©Alexander Gouliaev

東京文化会館チケットサービスのご案内

当館及び他会場で開催される、オペラ、バレエ、クラシックコンサート等のチケットを多数取り揃えております。窓口、お電話の他、インターネットでもご購入いただけます。ぜひご利用ください。

◆営業時間　10:00～19:00
◆TEL　03-5685-0650
◆HP　http://www.t-bunka.jp/
◆休業日　12月／12日(月)*・13日(火)*・29日(木)・30日(金)
1月／1日(日)・2日(月)・16日(月)・17日(火)*
2月／20日(月)*・21日(火)*
3月／13日(月)*・14日(火)*
＊窓口休業【電話(10:00～18:00)・Webのみ受付】

小ホール

1(水) 19:00

川井郁子 愛の名曲コンサート

出　演 川井郁子(Vn) 他
曲　目 モノー：愛の讃歌 他
料　金 指定5,500　**問合せ** 東京音協 03-5774-3030

2(木) 未定

第12回ルーマニア国際音楽コンクール 入賞者披露演奏会

出　演 第12回ルーマニア国際音楽コンクール入賞者
料　金 自由3,000
問合せ 日本ルーマニア音楽協会 03-6459-0724

3(金) 19:00

クライネス・コンツェルトハウス op.34

出　演 小澤洋介(指揮・Vc) クライネス・コンツェルトハウス管弦楽団
曲　目 ベートーヴェン：交響曲第3番「英雄」他
料　金 指定5,000
問合せ クライネス・コンツェルトハウス事務局 04-2945-6326

4(土) 14:00

普天間かおり コンサート2017

出　演 普天間かおり(Vo) 喜多山 信(Gt) 紺野紗衣(Pf) 寺田典子(Pc)
曲　目 守りたいもの 他　**料　金** 指定4,500(当日4,800)
問合せ Ro-Onチケット 047-365-9960

5(日) 14:00

日本モーツァルト協会 第586回例会

出　演 﨑谷直人(Vn) 三原久遠(Vn) 横溝耕一(Va) 富岡廉太郎(Vc)
(ウェールズ弦楽四重奏団)
曲　目 モーツァルト：弦楽四重奏曲 ト長調「春」他
料　金 自由5,000 学生2,000
問合せ 日本モーツァルト協会 03-5467-0626

6(月) 19:00

佐藤千佳 ピアノリサイタル

曲　目 ショパン：バラード第4番 他　**料　金** 自由3,000
問合せ JILAチケットセンター 03-3356-4140

8(水) 19:00

Digitalyrica ーデジタリリカー『トスカ』

演　目 プッチーニ：歌劇『トスカ』
イタリア語上演／日本語字幕付／ハイライト版
出　演 トスカ：小川里美 カヴァラドッシ：高田正人
スカルピア男爵：与那城 敬
彌勒忠史(演出・語り) 清水のりこ(El)
料　金 S6,000 A5,000　**問合せ** メイ・コーポレーション 03-3584-1951

9(木) 19:00

TGS第5回東京公演

出　演 鈴木 舞 土屋杏子 對馬哲男 長尾春花(Vn) 他
曲　目 ヴィヴァルディ：四季 他
料　金 自由3,000(当日3,500) 学生1,000(当日1,500)
問合せ TGS実行委員会 tgs.strings@gmail.com

10(金) 19:00

平沢匡朗 モーツァルトの夕べ

出　演 平沢匡朗(指揮・Pf) チェンバーオーケストラ Klang
曲　目 モーツァルト：ピアノ協奏曲 第27番 他
料　金 自由3,500(当日4,000) 学生1,500
問合せ アルペンミュージックオフィス 03-5739-1663

11(土・祝) 14:00

Music Program TOKYO まちなかコンサート Vol.3 ムジカ・アモーレ

主催公演 P12 参照

出　演 瀧村依里(Vn) コハーン・イシュトヴァーン(Cl)
居福健太郎(Pf) 宮本文昭(ナビゲーター) 他
曲　目 ボロディン：弦楽四重奏曲第2番より 第1楽章 他
料　金 自由1,000　**問合せ** 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

12(日) 14:00

安田正昭 ピアノリサイタル

曲　目 ベートーヴェン＝リスト：交響曲第3番「英雄」他
料　金 自由3,500　**問合せ** 銀河企画 0422-52-0429

13(月) 18:30

第22回 東京藝大ファゴット集団 定期演奏会

曲　目 ボロディン／横山未央子編曲：歌劇『イーゴリ公』より
"だったん人の踊り" 他
料　金 自由1,500 高校生以下1,000
問合せ 東京藝大ファゴット集団(阿部) moeko.fagotto@gmail.com

14(火) 11:00

東京文化会館 モーニングコンサート Vol.102

主催公演 P11 参照

出　演 清水勇磨(Br) 藤川志保(Pf)
曲　目 レオンカヴァッロ：歌劇『道化師』より
"失礼いたします。紳士、淑女の皆さん方" 他
料　金 自由500
問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

19:00

2017都民芸術フェスティバル参加公演 室内楽シリーズ No.16 「ピアノ三重奏の夕べ」

出　演 堤 剛(Vc) 須関裕子(Pf) 辻 彩奈(Vn)
曲　目 ドヴォルザーク：ピアノ三重奏曲第4番「ドゥムキー」他
料　金 指定3,000
問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131

15(水) 19:00

第28回 東京藝術大学ホルンアンサンブル定期演奏会

曲　目 スメタナ：我が祖国より「高い城」「モルダウ」他
料　金 自由1,200(当日1,500)
問合せ 東京藝術大学ホルン科(橋本) 090-7828-3063

16(木) 19:00

第24回 東京藝術大学サクソフォーン専攻生による演奏会

曲　目 メンデルスゾーン：交響曲第4番「イタリア」より 他
料　金 自由1,200(当日1,500)
問合せ 東京藝術大学サクソフォーン専攻生による演奏会
実行委員(宮越) 090-1885-3854

17(金) 19:00

Music Program TOKYO プラチナ・シリーズ第5回 渡辺貞夫

主催公演 P11 参照

出　演 渡辺貞夫(Sax) クリスチャン・サンズ(Pf)
ベン・ウィリアムス(Bs) ケンドリック・スコット(Ds)
曲　目 当日発表
料　金 S5,000 A4,000 B2,500
問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

18(土) 14:00

新進演奏家育成プロジェクト リサイタル・シリーズ TOKYO60 漆原直美 ヴァイオリンリサイタル

出　演 漆原直美(Vn) 長尾洋史(Pf)
曲　目 モーツァルト：ヴァイオリンソナタ ト長調 K301(293a) 他
料　金 自由2,500　**問合せ** 日本演奏連盟 03-3539-5131

19(日) 14:00

アマチュアピアノコンクール優勝者による ピアノジョイントコンサート Vol.10

出　演 所 千晴 松本 淳 小久保和哉 深津 徹(Pf)
曲　目 プロコフィエフ：ピアノソナタ第7番「戦争ソナタ」他
料　金 自由1,500(当日2,000)
問合せ オフィス・ピアノイング(松本) 090-6139-5686

22(水) 12:30

第7回音楽祭 スマイル合唱団のスマイル合唱会

出　演 安田祥子(S) 小貫岩夫(T) スマイル合唱団
曲　目 童謡、唱歌、ラジオ歌謡 他　**料　金** 入場無料(要事前申込)
問合せ スマイル合唱団支援事務局 03-6304-0161

23(木) 19:00

新井啓泰 ピアノリサイタル

曲　目 ショパン：幻想ポロネーズ 他
料　金 自由4,000
問合せ 新井啓泰ピアノリサイタル実行委員会 0283-25-0998

25(土) 16:30

日本ヘンデル協会 コンサートシリーズ Vol.19 歌劇『デイダミーア』

演　出 ヘンデル：歌劇『デイダミーア』
出　演 原 雅己(指揮) デイダミーア：藤井あや ネレーア：加藤千春
アキッレ：民秋 理 フェニーチェ：春日保人 他
料　金 自由6,500(当日7,000) 学生4,000
問合せ 日本ヘンデル協会(柳本) 0463-78-6302

26(日) 14:00

アンサンブルコルディエ 定期演奏会 Vol.44

曲　目 グリーグ：2つのメロディ op.53 他
料　金 指定3,500
問合せ アンサンブル コルディエ 03-3851-7150

27(月) 19:00

河原千尋 ピアノリサイタル

曲　目 J.S.バッハ：パルティータ第6番 他
料　金 自由3,000
問合せ 石場プロダクション 04-2968-9814

28(火) 14:00

青春のダンス＆スクリーンミュージック Vol.5

出　演 マキナ・アンド・カンパニー ゲスト：駒井ゆり子(S)
曲　目 慕情 ひまわり 他
料　金 自由4,000
問合せ オフィスマキナ 03-3491-9061

休館日：20日(月)・21日(火)

●掲載情報は2016年10月31日現在のものです。
●主催者等の都合により、公演内容等が変更になる場合があります。また、公演によっては全席種のチケットをご用意できない場合もあります。詳しくは各主催者にお問合せください。

アルト(A)／アコーディオン(Ac)／バリトン(Br)／バス(Bs)／バスバリトン(Bs-Br)／バンドネオン(Bn)／カウンターテナー (CT)／コントラバス(Cb)／クラリネット(Cl)／チェンバロ(Cem)／ドラムス(Ds)／ユーフォニアム(Eu)／ファゴット(Fg)／フルート(Fl)／フォルテピアノ(Fp)／ギター (Gt)／ヴィオラ・ダ・ガンバ(Gb)／ハープ(Hp)／ホルン(Hr)／キーボード(Key)／メゾソプラノ(Ms)／マリンバ(Mar)／オーボエ(Ob)／オルガン(Og)／ピアノ(Pf)／パーカッション(Pc)／ソプラノ(S)／サックス(Sax)／テノール(T)／トロンボーン(Tb)／ティンパニ(Tim)／トランペット(Tp)／チューバ(Tu)／ヴィオラ(Va)／ヴィブラフォン(Vib)／チェロ(Vc)／ヴァイオリン(Vn)／ヴォーカル(Vo)／ソプラノサックス(S-Sax)／アルトサックス(A-Sax)／テナーサックス(T-Sax)／バリトンサックス(Br-Sax)／リコーダー (Rec)／シンセサイザー (Syn)／コーラス(Cho)

大ホール

2(木)・3(金) 18:30 / 4(土) 13:30・18:30 / 5(日) 15:00
パリ・オペラ座バレエ団 2017年日本公演『ラ・シルフィード』

演　目『ラ・シルフィード』全2幕
音　楽 ジャン＝マドレーヌ・シュナイツホーファー
（第1幕パ・ド・トロワは『オンブル』より抜粋）
振　付 ピエール・ラコット（フィリッポ・タリオーニ原案による）
芸術監督 オレリー・デュポン
出　演

	ラ・シルフィード	ジェイムズ
(2日)	ミリアム・ウルド＝ブラーム	マチアス・エイマン
(3日)	アマンディーヌ・アルビッソン	マチュー・ガニオ
(4日昼)	リュドミラ・パリエロ	ジョシュア・オファルト
(4日夜)	ミリアム・ウルド＝ブラーム	マチアス・エイマン
(5日)	アマンディーヌ・アルビッソン	マチュー・ガニオ

管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団
料　金 S27,000 A24,000 B21,000
C17,000 D13,000 E9,000
問合せ NBSチケットセンター 03-3791-8888

©Jacques Moatti/OnP

9(木)・10(金) 18:30 / 11(土) 13:30・18:30 / 12(日) 15:00
パリ・オペラ座バレエ団 2017年日本公演【グラン・ガラ】

芸術監督 オレリー・デュポン

「テーマとヴァリエーション」
音　楽 チャイコフスキー
振　付 ジョージ・バランシン
出　演

(9日)	ローラ・エッケ	マチュー・ガニオ
(10日)	ミリアム・ウルド＝ブラーム	マチアス・エイマン
(11日昼)	ドロテ・ジルベール	ジョシュア・オファルト
(11日夜)	ローラ・エッケ	マチュー・ガニオ
(12日)	ミリアム・ウルド＝ブラーム	マチアス・エイマン

「ダフニスとクロエ」
音　楽 ラヴェル
振　付 バンジャマン・ミルピエ
出　演

	ダフニス	クロエ
(9日)	エルヴェ・モロー	オレリー・デュポン
(10日)	ジェルマン・ルーヴェ	アマンディーヌ・アルビッソン
(11日昼)	エルヴェ・モロー	オレリー・デュポン
(11日夜)	エルヴェ・モロー	オレリー・デュポン
(12日)	ジェルマン・ルーヴェ	アマンディーヌ・アルビッソン

「アザー・ダンス」
音　楽 ショパン
振　付 ジェローム・ロビンズ
出　演

(9日)	リュドミラ・パリエロ	マチアス・エイマン
(10日)	ドロテ・ジルベール	ジョシュア・オファルト
(11日昼)	リュドミラ・パリエロ	マチアス・エイマン
(11日夜)	リュドミラ・パリエロ	マチアス・エイマン
(12日)	ドロテ・ジルベール	ジョシュア・オファルト

管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団
料　金 S27,000 A24,000 B21,000
C17,000 D13,000 E9,000
問合せ NBSチケットセンター 03-3791-8888

©Ann Ray/OnP

休館日：13日（月）・14日（火）

【Aプロ】16(木) 19:00 / 18(土) 15:00
ニーナ・アナニアシヴィリの軌跡 ～最後のクラシック・ガラ～

【Aプロ】16日・18日
演　目「白鳥の湖」より 第2幕・第4幕
原振付 マリウス・プティパ／レフ・イワーノフ
演出・再振付 アレクセイ・ファジェーチェフ

演　目「セレナーデ」
振　付 ジョージ・バランシン

演　目「眠れる森の美女」より
原振付 マリウス・プティパ
演出・再振付 ニーナ・アナニアシヴィリ

【Bプロ】19(日)・20(月・祝) 14:00
【Bプロ】19日・20日
演　目『薔薇の精』
振　付 ミハイル・フォーキン

演　目『ゼンツァーノの花祭り』
振　付 オーギュスト・ブルノンヴィル

演　目『タイス』パ・ド・ドゥ
振　付 フレデリック・アシュトン

演　目『モーツァルティアーナ』
振　付 ジョージ・バランシン

演　目『ドン・キホーテ』より
原振付 マリウス・プティパ／アレクサンドル・ゴールスキー
ワフタング・チャブキアーニ

出　演 ニーナ・アナニアシヴィリ
ジョージア国立バレエ団 他
管弦楽 シアター オーケストラ トーキョー
料　金 S18,000 A14,000 B11,000 C8,000 D5,000
問合せ チケットスペース 03-3234-9999

21(火) 19:00
東京都交響楽団 第827回定期演奏会 Aシリーズ P21参照

指　揮 大野和士
出　演 ニコライ・ルガンスキー（Pf）
曲　目 ブラームス：ピアノ協奏曲第1番
ブラームス：交響曲第4番
料　金 S7,500 A6,500 B5,500 C4,500 Ex2,800
問合せ 都響ガイド 03-3822-0727

大野和士 ©HARUKI

ニコライ・ルガンスキー ©Caroline Doutre/Naïve

22(水) 19:00
都民劇場音楽サークル第645回定期公演 ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団

指　揮 エリアフ・インバル
出　演 上原彩子（Pf）
曲　目 モーツァルト：ピアノ協奏曲第20番
マーラー：交響曲第5番
料　金 S15,000 A12,000 B10,000 C8,000
問合せ 都民劇場 03-3572-4311

エリアフ・インバル ©Sverdlovsk State Philharmony

上原彩子 ©三浦興一

26(日) 15:00
小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXV ビゼー：歌劇『カルメン』

演　目 ビゼー：歌劇『カルメン』
指　揮 小澤征爾（音楽監督）村上寿昭
※両名による振り分け
演　出 デイヴィッド・ニース
管弦楽 小澤征爾音楽塾オーケストラ
合　唱 小澤征爾音楽塾合唱団
児童合唱 京都市少年合唱団
料　金 S25,000 A21,000 B17,000
C13,000 D8,000
問合せ 小澤征爾音楽塾 東京公演事務局
0570-084-735

小澤征爾 ©Shintaro Shiratori

小ホール

1(水) 14:00
～King of Dixie～ 薗田憲一とデキシーキングスコンサート

曲　目 セントルイス・ブルース 他
料　金 指定4,500
問合せ インターナショナル・カルチャー 03-3402-2171

2(木) 19:00
The Rev Saxophone Quartet デビューリサイタル

出　演 上野耕平（S-Sax）宮越悠貴（A-Sax）
都築 惇（T-Sax）田中奏一朗（B-Sax）
曲　目 グラズノフ：サクソフォン四重奏曲 他
料　金 指定3,000 学生1,500
問合せ 日本コロムビア 03-6895-9001

3(金) 11:00 / 19:00
創遊・楽落らいぶ Vol.37 主催公演 P11参照

料　金 自由500
問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

2017都民芸術フェスティバル参加公演 室内楽シリーズ No.16「弦楽四重奏の夕べ」

出　演 クァルテット・エクセルシオ
曲　目 ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲第12番「アメリカ」他
料　金 指定3,000　**問合せ** 日本演奏連盟 03-3539-5131

4(土) 14:00
第11回「左手のアーカイブ」コンサート

出　演 智内威雄（Pf）渡辺美穂（Vn）藤村政芳（Vn）門脇大樹（Vc）
曲　目 コルンゴルト：2つのヴァイオリン、
チェロと左手のピアノのための組曲 他
料　金 自由3,000（当日3,500）学生2,000
問合せ「左手のアーカイブ」プロジェクト事務局 090-6047-3005

5(日) 14:30
ヴォクスマーナ第37回定期演奏会

指　揮 西川竜太
曲　目 川上 統：怪獣（委嘱新作・初演）他
料　金 自由3,000（当日3,500）大学生1,500 高校生以下1,000
問合せ ヴォクスマーナ事務局 070-5079-4462

6(月) 19:00
第3回 目黒遥菜 ピアノリサイタル

曲　目 ショパン：ピアノソナタ第3番 他
料　金 自由2,500（当日3,000）
問合せ 目黒遥菜後援会 045-935-1780

7(火) 19:00
ブラス・ユナイテッド

曲　目 ヤコブ＝テル・フェルドハウス：ピッチ・ブラック 他
料　金 指定5,500 学生3,500
問合せ プロ アルテ ムジケ 03-3943-6677

8(水) 11:00 / 19:00
東京文化会館 モーニングコンサート Vol.103 主催公演 P11参照

出　演 白井菜々子（Cb）山崎早登美（Pf）
曲　目 エルガー：愛の挨拶 他
料　金 自由500　**問合せ** 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

今井 顕 ピアノリサイタル

曲　目 シューベルト：ソナタ イ長調 D959 他
料　金 自由5,000 学生3,000
問合せ 日本アーティストチケットセンター 03-5305-4545

9(木) 19:00
板波利加 ドラマティックコンサート“7つの夢、7つの欲望”

出　演 板波利加（S）マッツ・クヌッツソン（Pf）
曲　目 R.シュトラウス：歌劇『サロメ』より“ああ、お前は自分の口に接吻させようとはしなかった、ヨカナーン！”他
料　金 S5,000 A4,000　**問合せ** AMATI 03-3560-3010

10(金) 19:00
坪田昭三 米寿記念コンサート

出　演 友田啓明（Vn）生沼晴嗣（Va）花崎 薫（Vc）
海鋒正毅（Cl）坪田昭三（Pf）
曲　目 モーツァルト：ピアノ四重奏曲第1番 他
料　金 自由4,000　**問合せ** 新演 03-3561-5012

11(土) 15:00
神田 将 リサイタル2017 交響的舞曲

出　演 神田 将（エレクトーン）
曲　目 ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」第1楽章 他
料　金 指定5,000 学生3,000
問合せ Ro-Onチケット 047-365-9960

12(日) 12:30
第40回 職員合唱祭

出　演 東京都・23区の職場合唱サークル　**料　金** 入場無料
問合せ 東京都職員文化会 合唱部（東京都第三建設事務所 大河原）
03-3387-5094

15(水) 19:00
東京混声合唱団 第242回定期演奏会

出　演 水戸博之（指揮）　**曲　目** 一柳 慧：委嘱初演 他
料　金 自由4,500 学生2,500
問合せ 合唱音楽振興会 03-3200-9755

休館日：13日（月）・14日（火）

18(土) 15:00
東京文化会館 舞台芸術創造事業 ストラヴィンスキー「兵士の物語」 主催公演 P9,10参照

出　演 安東伸元（語り・狂言方能楽師）KAMIYAMA（兵士：パントマイム）
荒井英治（Vn）黒木岩寿（Cb）他
料　金 S5,800 A3,800 B2,000
問合せ 東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111

24(金) 19:00
藤井一興 ピアノリサイタル

曲　目 メシアン：《鳥のカタログ》より 第9番「ヨーロッパウグイス」他
料　金 自由4,000　**問合せ** ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

27(月) 18:45
日本モーツァルト協会 第587回例会

出　演 鳥羽泰子（Pf）ダニエル・フロシャウアー（Vn）江口心一（Vc）
曲　目 モーツァルト：ピアノ三重奏曲 ト長調 K564 他
料　金 自由5,000 学生2,000
問合せ 日本モーツァルト協会 03-5467-0626

28(火) 19:00
古典音楽協会 第154回定期演奏会

曲　目 パーセル：組曲《妖精の女王》第2番 他
料　金 指定4,000 自由3,500
問合せ コンサートプロジェクト北星 03-3381-1523

東京・春・音楽祭 ―東京のオペラの森2017―

16(木) 19:00
ベルリン・フィルのメンバーによる室内楽

出　演 アンドレアス・ブーシャッツ（Vn）オラフ・マニンガー（Vc）
オハッド・ペン＝アリ（Pf）
曲　目 シューマン：ピアノ三重奏曲第1番 他
料　金 S6,700 A5,200 U-25（25歳以下）1,500

19(日) 19:00
Voice n' Violin

出　演 アンドレアス・シャーガー（T）リディア・バイチ（Vn）
マティアス・フレッツベルガー（指揮）
トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア（管弦楽）
曲　目 J.シュトラウス／フレッツベルガー編曲：
シュトラウス一家の作品によるメドレー 他
料　金 S8,700 A7,200 U-25（25歳以下）1,500

20(月・祝) 15:00
東京春祭チェンバー・オーケストラ

出　演 堀 正文（Vn）佐々木 亮（Va）辻本 玲（Vc）池松 宏（Cb）他
曲　目 モーツァルト：交響曲第29番 他
料　金 S5,700 A4,100 U-25（25歳以下）1,500

22(水) 19:00
HORNISTS 8《ワーグナー×ホルン》

出　演 今井仁志 福川伸陽 石川直城 勝俣 泰 木川博史 他
曲　目 ワーグナー／シュティーグラー編曲：《ジークフリート》幻想曲 他
料　金 S4,600 A3,100 U-25（25歳以下）1,500

23(木) 19:00
ロスチャイルド家と作曲家たち

出　演 シャーロット・ド・ロスチャイルド（S）マイケル・コリンズ（Cl）
マイケル・マルクヘル（Pf）
曲　目 マチルド・ド・ロスチャイルド：《アルバムの綴り》op.2より
第6番 マズルカ 他
料　金 S6,200 A4,600 U-25（25歳以下）1,500

25(土) 11:00 / 19:00
東京春祭 for Kids 音楽物語《ぞうのババール》

出　演 石黒 賢（語り）三浦友理枝（Pf）
曲　目 プーランク：音楽物語《ぞうのババール》他
料　金 こども（3歳以上高校生以下）1,500 大人（保護者）2,600
※大人の方のみでのご入場は、ご遠慮いただいております。

都響メンバーによる室内楽

出　演 四方恭子（Vn）鈴木 学（Va）池松 宏（Cb）鈴木大介（Gt）他
曲　目 メンデルスゾーン：弦楽八重奏曲 変ホ長調 op.20 他
料　金 S5,200 A4,100 U-25（25歳以下）1,500

26(日) 15:00
名手たちによる室内楽の極（きわみ）

出　演 長原幸太（Vn）鈴木康浩（Va）上森祥平（Vc）他
曲　目 シューベルト：弦楽五重奏曲 ハ長調 D.956 他
料　金 S4,600 A3,100 U-25（25歳以下）1,500

29(水) 14:00
語りと音楽 ― 永井荷風

出　演 松平定知（朗読）他
曲　目 ワーグナー：歌劇《タンホイザー》より 他
料　金 指定4,600 U-25（25歳以下）1,500

30(木) 19:00
偉大な芸術家の思い出に

出　演 堀 正文（Vn）イェンス＝ペーター・マインツ（Vc）清水和音（Pf）
曲　目 チャイコフスキー：ピアノ三重奏曲
《偉大な芸術家の思い出に》他
料　金 S5,700 A4,100 U-25（25歳以下）1,500

問合せ 東京・春・音楽祭チケットサービス 03-3322-9966

音楽資料室より　MUSIC LIBRARY

音楽資料室は、昭和36年10月に開設された音楽専門の図書館です。クラシック音楽を中心として、民族音楽や邦楽、舞踊に関する資料（図書、楽譜、CD・LP、映像など）を所蔵しており、どなたでも無料で閲覧・視聴ができます。火曜から土曜は20時まで開室しております。コンサートの前やお仕事帰り等に、ぜひお立ち寄りください。

※音楽資料室は東京文化会館4階にあります。ご来室の際は、エントランスロビー奥のエレベーターをご利用ください。

平成28年7月26日、ピアニスト中村紘子さんがご逝去されました。
日本の音楽界に果たしてきた計り知れない功績には多くの賛辞が贈られました。
今回は、音楽資料室の所蔵資料から中村紘子さんの足跡をたどります。

Program

公演プログラム

デビューコンサート、ショパン国際ピアノ・コンクール受賞記念演奏会、デビュー50周年記念リサイタルと節目の演奏会を当館大ホールで行っています。

（写真左から）
◎1961年12月19日
中村紘子ピアノリサイタル
◎1965年6月10日
ショパン国際ピアノ・コンクール受賞記念演奏会
◎2009年12月12日
デビュー50周年記念リサイタル

LP

LP

1976年録音のラフマニノフ。50枚以上のアルバムをリリースしたうちの1枚です。解説書には、「ラフマニノフとその音楽と」と題された中村さんの文章が寄せられています。

（写真）
◎ラフマニノフ
「ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 作品18」
演奏：中村紘子
指揮：渡辺暁雄
東京都交響楽団
※ほかに「前奏曲変ホ長調作品23-6」「前奏曲嬰ト短調作品32-12」を収録
請求記号：K103.7

Books

図書

音楽以外でも豊かな才能を発揮した中村さん。著書『チャイコフスキー・コンクール―ピアニストが聴く現代』は第20回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。

（写真左から）
◎「チャイコフスキー・コンクール―ピアニストが聴く現代」
（中央公論社、1988）請求記号：5.6-N145
◎「ピアニストという蛮族がいる」
（文藝春秋、1992）請求記号：0.9-N145
◎「コンクールでお会いしましょう―名演に飽きた時代の原点」
（中央公論新社、2003）請求記号5.6-N145-03

音楽資料室で所蔵している資料はすべて、実際に手に取ってご覧いただくことができます。目的の資料がみつからない、機器の操作方法がわからないなど、ご不明な点はカウンターの職員におたずねください。また、所蔵資料は一部を除きインターネットからも検索できますので、来室前の下調べにもお役立てください。みなさまのご利用をお待ちしています。

音楽資料室蔵書検索画面

閲覧室

音楽資料室ご案内

東京文化会館4Fには、音楽資料室があります。楽譜、CD・LP、映像、図書など、クラシック音楽を中心とした資料の閲覧・視聴ができます。初回は、お名前、住所を確認できるものをお持ちください。電話での資料に関するご質問にもお答えしております。（電話受付時間：祝日を除く開室日の火～土曜 9～17時）インターネットでも所蔵資料を検索することができます。（http://t-bunka.opac.jp/）

TEL ▸ 03-3828-2111（代表）
URL ▸ http://www.t-bunka.jp/library/
＊コピーサービスを除き、料金は必要ありません。

開室時間

火曜～土曜13時～20時（コピー受付 18時30分まで）
日曜・祝日 13時～17時（コピー受付 16時まで）

休室日

・毎週月曜
・保守日等（12月6・13・14日、1月17・18・24日、2月21・22・28日、3月14・28・31日）
・年末年始（12月28日 -1月3日）
＊休室日や開室時間は変更になる場合がございます。
詳しくは、ホームページのカレンダーや電話等でご確認ください。

都響ニュース vol.42

東京文化会館から上質の音楽を発信！

東京都交響楽団
音楽監督：大野和士
桂冠指揮者：エリアフ・インバル
終身名誉指揮者：小泉和裕
首席客演指揮者：ヤクブ・フルシャ

2017年度 都響会員券 いよいよ発売開始！

いつも東京都交響楽団の公演にご来場を賜り誠にありがとうございます。都響は、2017年度も、大野和士音楽監督、終身名誉指揮者小泉和裕、桂冠指揮者エリアフ・インバル、首席客演指揮者ヤクブ・フルシャはもちろん、定評ある客演指揮者たちを迎え、多彩なプログラムをお届けします。

12月9日（金）一般発売となるお得な都響会員券なら、1年を通して都響の演奏をお楽しみいただけます。この機会にぜひご検討ください。
4月からの新シーズンもみなさまのご来場を心よりお待ちしております。

2017年度定期演奏会Aシリーズ　各回19時開演　東京文化会館

第828回 4月17日（月） ｜1回券：2017年1月頃発売

指　揮／アラン・ギルバート
ヴァイオリン／リーラ・ジョセフォウィッツ
ラヴェル：バレエ音楽《マ・メール・ロワ》
ジョン・アダムズ：シェヘラザード.2 ―ヴァイオリンと管弦楽のための劇的交響曲（2014）（日本初演）

アラン・ギルバート ©Rikimaru Hotta

リーラ・ジョセフォウィッツ ©Chris Lee

第833回 5月31日（水） ｜1回券：2017年1月頃発売

指　揮／小泉和裕
ピアノ／アブデル・ラーマン・エル＝バシャ
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調 op.73《皇帝》
シューマン：交響曲第2番 ハ長調 op.61

小泉和裕 ©Rikimaru Hotta

アブデル・ラーマン・エル＝バシャ

第836回 7月10日（月） ｜1回券：2017年3月頃発売

指　揮／マルク・ミンコフスキ
ハイドン：交響曲第102番 変ロ長調 Hob.I:102
ブルックナー：交響曲第3番 ニ短調 WAB103《ワーグナー》（1873年初稿版）

マルク・ミンコフスキ ©Marco Borggreve

第838回 9月4日（月） ｜1回券：2017年3月頃発売

指　揮／大野和士
ピアノ／ハオチェン・チャン
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番 ニ短調 op.30
ラフマニノフ：交響曲第3番 イ短調 op.44

大野和士 ©Rikimaru Hotta

ハオチェン・チャン ©Benjamin Ealovega

第842回 11月18日（水） ｜1回券：2017年7月頃発売

指　揮／ハンヌ・リントゥ
メゾソプラノ／ニーナ・ケイテル
バリトン／トゥオマス・プルシオ
男声合唱／フィンランド・ポリテク男声合唱団
シベリウス：クレルヴォ交響曲 op.7

ハンヌ・リントゥ ©Kaapo Kamu

第844回 12月11日（月） ｜1回券：2017年7月頃発売

指　揮／ヤクブ・フルシャ
ドヴォルザーク：序曲《オセロ》op.93 B.174
マルティヌー：交響曲第2番 H.295
ブラームス：交響曲第2番 ニ長調 op.73

ヤクブ・フルシャ ©Rikimaru Hotta

第847回 2018年1月18日（木） ｜1回券：2017年9月頃発売

指　揮／大野和士
ピアノ／ヤン・ミヒールス*/**
オンドマルト／原田 節**
ミュライユ：告別の鐘と微笑み ～オリヴィエ・メシアンの追憶に（1992）（ピアノ・ソロ）*
メシアン：トゥーランガリラ交響曲**

大野和士 ©Rikimaru Hotta

ヤン・ミヒールス

第849回 2018年3月20日（火） ｜1回券：2017年9月頃発売

指　揮／エリアフ・インバル
ショスタコーヴィチ：交響曲第7番 ハ長調 op.60《レニングラード》

エリアフ・インバル ©Rikimaru Hotta

【2017年度都響会員券《一般発売》12月9日（金）10時　電話／インターネット】

一定期演奏会Aシリーズ 会員券料金一	S席	A席	B席	C席	Ex席
定期会員	36,600	31,550	26,600	21,550	19,200
U25会員	18,250	15,600	13,150	10,750	―

◎［U25］25歳以下：1992年4月1日以降にお生まれの方（2017年度の場合）

【2017年度1回券】

一定期演奏会Aシリーズ 1回券料金一	S席	A席	B席	C席	Ex席
第828回	8,000	7,000	6,000	5,000	3,700
第833回・第844回	6,500	5,500	4,500	3,500	2,200
上記以外	7,500	6,500	5,500	4,500	3,200

◎シルバーエイジ（65歳以上）、U25（25歳以下）割引等あり。詳しくはお問合せください。

ご予約とお問合せ
都響ガイド 03-3822-0727 http://www.tmso.or.jp（ホームページからも予約できます）
〒110-0007 東京都台東区上野公園5-45 東京文化会館1階（月～金 10時～18時／土日祝休み ※主催公演開催日等は営業時間が変更となります。）

vol.65 会館からのお知らせ

東京文化会館友の会のご案内

“音楽の殿堂”東京文化会館を応援してくださる舞台芸術ファンのための友の会『Club Wa-Wa（わぁーわ）』。Wa-Waとは、ご支援くださる皆様の“輪”と“和”を意味しています。

東京文化会館は、昭和36（1961）年の開館以来、日本における舞台芸術の中心地として、半世紀にわたる歴史を刻んでまいりました。伝統をふまえ、未来へ向けて歩む会館を、『Club Wa-Wa』の皆様に支えていただき、さらなる“輪”を広げていただきたいと願っております。多くの皆様のご入会を心よりお待ちしております。

【会員プラン】

①	ベーシックプラン 年会費 2,160円	メルマガ、ホームページから情報をお届けするプラン
②	クラシックプラン 年会費 2,700円	毎月1回ご郵送する会報誌から情報をお届けするプラン

【特　典】（ベーシックプラン、クラシックプラン共通）

①当館指定公演のチケット割引
②先行発売
③招待
④館内レストラン・ショップ割引
⑤ヤマハ銀座店5%割引（一部対象外）
⑥「音脈」郵送
⑦東京都歴史文化財団が運営する文化施設の入館料等の割引
⑧アトレ上野の対象店舗の各種サービス
⑨エキュート上野の対象店舗の各種サービス

お問合せ

東京文化会館友の会事務局
03-3828-1696（平日9:00～17:00 土日祝休み）
http://www.t-bunka.jp/wawa/

vol.65 音脈 表紙について

年末年始の華やぎを迎える季節となりました。今号の表紙では、東京文化会館の基調の色となっています赤と青の階段、ロビーに入ると目に飛び込んできます江戸キンキラと呼ばれる金色の装飾、そして、天の川の星のように光輝く天井の照明をコラージュしました。大ホールの舞台袖には、出演したアーティスト達がサインをしたパネルがあり、壁にも沢山のサインがあります。バックステージツアー〈舞台編〉に参加をして頂きますとご覧頂くことが出来ます。東京文化会館の建物としての魅力にもぜひご注目下さい。

立ちどまらない保険。
MS&AD あいおいニッセイ同和損保

優しくするには強くならなきゃ。
あなたをさまざまなリスクから守るために、
自動車保険、火災保険、ケガの保険、
いろんな保険を、ひとつのシリーズで。
わかりやすくて頼りになる保険です。

タフ TOUGH
タフな安心を、あなたに。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
公務部営業第二課

〒103-8250
東京都中央区日本橋 3-5-19
TEL:03-6734-9985
http://www.aioinissaydowa.co.jp/

「和の寛ぎ」と「洋の快適性」を兼ね備えた新しいツインルームが有馬に誕生。

有馬グランドホテル
http://www.arima-gh.jp/

神戸中心部から好アクセス！
新神戸駅から車、電車で約30分

tel. 078-903-5489　兵庫県神戸市北区有馬町 1304-1

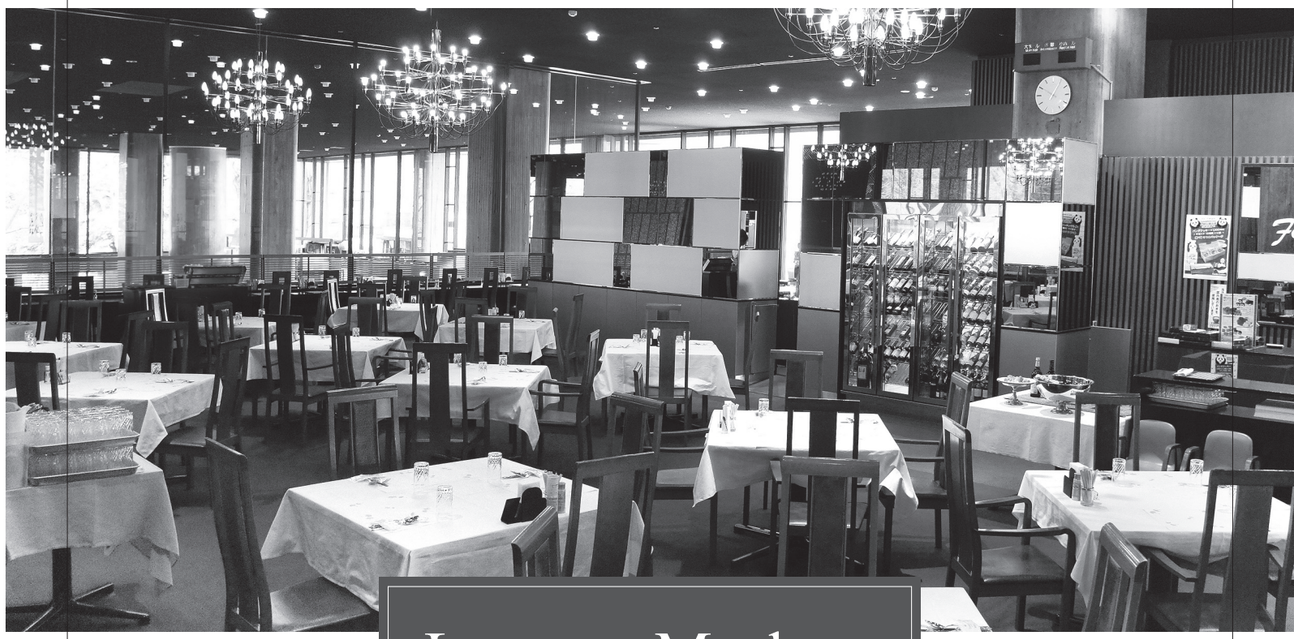
日本最古の温泉地に、クラシック界期待のアーティスト！
Special concert

Thank you, everyone! Hope to see you soon.

2016 年度 各出演者

“2016年
クラシックミニコンサート”へのたくさんのご来場ありがとうございました。
2017年は、
3月以降開催の予定です。
みなさまのお越しを
心よりお待ちしています。

Restaurant Forestier
レストラン フォレスティーユ 精養軒



Luxury Modern
ラグジュアリー・モダン
劇場の余韻に浸る空間

上野 精養軒

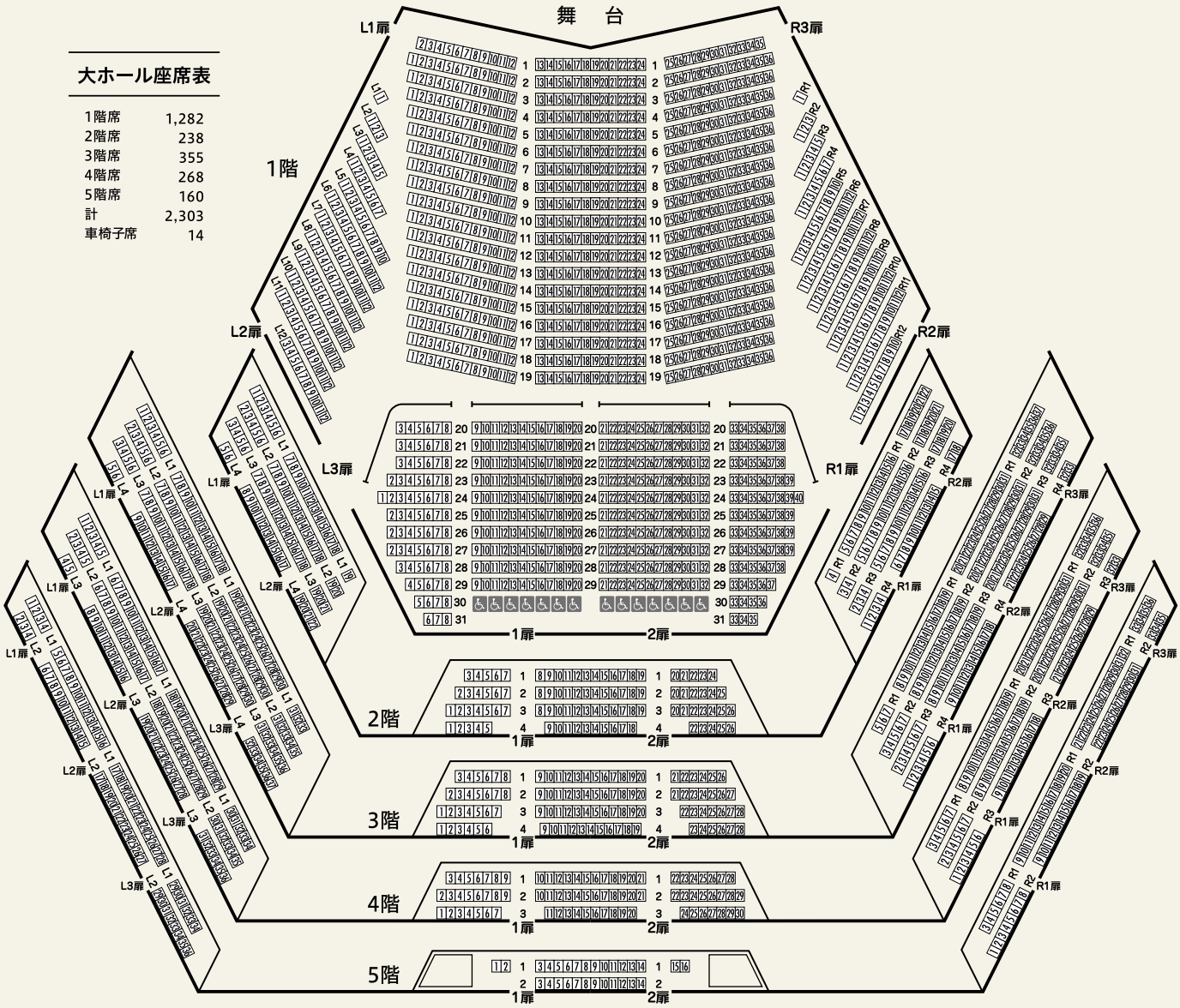
TEL 03-3821-9151
（東京文化会館　2階）
http://www.seiyoken.co.jp

芸脈 vol.65 2017 WINTER

平成28年11月21日発行（年4回発行）
発行・編集 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館
〒110-8716 東京都台東区上野公園5-45
03-3828-2111（代）
http://www.t-bunka.jp/
デザイン・印刷・製本 有限会社インテグラルプラス 前田印刷株式会社

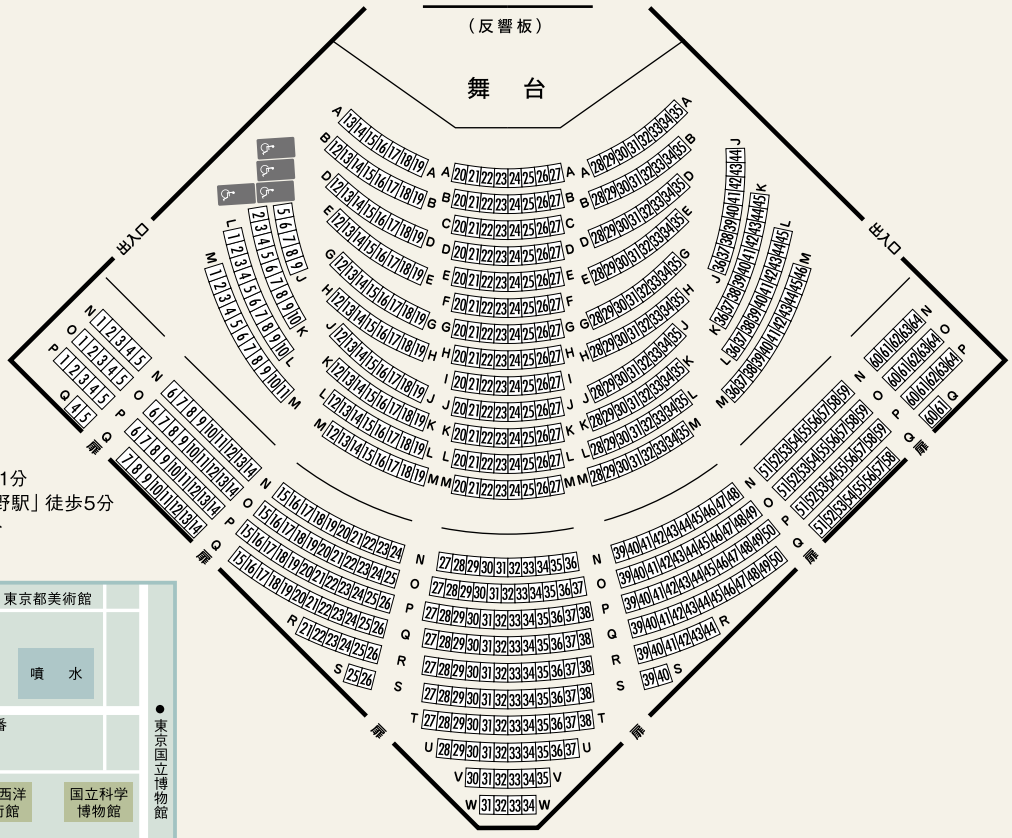
大ホール座席表

1階席	1,282
2階席	238
3階席	355
4階席	268
5階席	160
計	2,303
車椅子席	14



小ホール座席表

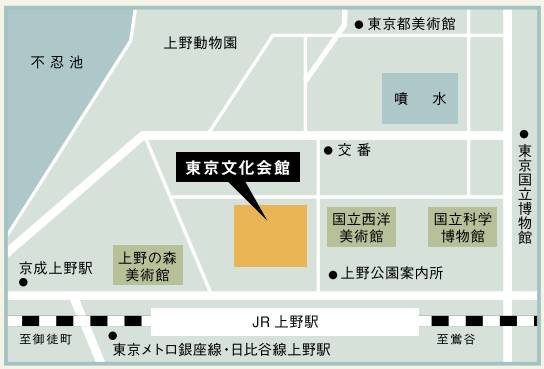
下段席	338
上段席	311
計	649
車椅子席	4



Access

◎JR線 ..... 「上野駅」公園口 徒歩1分
◎東京メトロ ..... 銀座線・日比谷線「上野駅」徒歩5分
◎京成線 ..... 「京成上野駅」徒歩7分

※当館には駐車場はございません。



※ホールにはエレベーター、エスカレーターはございません。
あらかじめご了承ください。